

家 庭

(家庭基礎)

発 行 者			教科書の記号	判型	総ページ数	検定済年
番号	名 称	略 称	番 号			
2	東京書籍	東書	家基 701	A B	230	令和3年
6	教育図書	教図	家基 702 ◆	A B	234	
6	教育図書	教図	家基 703 ◆	B 5	250	
6	教育図書	教図	家基 704 ◆	A B	228	
7	実教出版	実教	家基 705 ◆	A B	258	
7	実教出版	実教	家基 706 ◆	B 5	216	
7	実教出版	実教	家基 707 ◆	A B	238	
9	開隆堂出版	開隆堂	家基 708 ◆	A B	226	
50	大修館書店	大修館	家基 709 ◆	A 4	274	
183	第一学習社	第一	家基 710 ◆	A B	228	

※ 「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

家庭基礎		冊数	10冊
発行者の略称・ 教科書の番号	東書701 教図702 教図703 教図704 実教705 実教706 実教707 開隆堂708 大修館709 第一710		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【家庭の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

【家庭基礎の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

【家庭基礎の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (1) 生涯の生活設計 (2) 青年期の自立と家族・家庭 (3) 子供の生活と保育 (4) 高齢期の生活と福祉 (5) 共生社会と福祉	ア 内容のAからCまでについては、生活の科学的な理解を深めるための実践的・体験的な学習活動を充実するとともに、生活の中から問題を見だしその課題を解決する過程を重視すること。また、現在を起点に将来を見通したり、自己や家族を起点に地域や社会へ視野を広げたりして、生活を時間的・空間的な視点から捉えることができるよう指導を工夫すること。
B 衣食住の生活の自立と設計 (1) 食生活と健康 (2) 衣生活と健康 (3) 住生活と住環境	イ 内容のAの(1)については、人の一生を生涯発達の視点で捉え、各ライフステージの特徴などと関連を図ることができるよう、この科目の学習の導入として扱うこと。また、AからCまでの内容と関連付けるとともにこの科目のまとめとしても扱うこと。
C 持続可能な消費生活・環境 (1) 生活における経済の計画 (2) 消費行動と意思決定 (3) 持続可能なライフスタイルと環境	ウ 内容のAの(3)及び(4)については、学校や地域の実態等に応じて、学校家庭クラブ活動などとの関連を図り、乳幼児や高齢者との触れ合いや交流などの実践的な活動を取り入れるよう努めること。
D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	

	<p>エ 内容のBについては、実験・実習を中心とした指導を行うこと。なお、(1)については、栄養、食品、調理及び食品衛生との関連を図って扱うようにすること。また、調理実習については食物アレルギーにも配慮すること。(5)内容の(2)については、実験・実習を中心とした指導を行うこと。なお、アについては、栄養、食品、調理及び食品衛生との関連を図って扱うようにすること。また、調理実習については食物アレルギーにも配慮すること。</p> <p>オ 内容のCの指導に当たっては、A及びBの内容と相互に関連を図ることができるよう工夫すること。</p> <p>カ 内容のDの指導に当たっては、AからCまでの学習の発展として実践的な活動を家庭や地域などで行うこと。</p>
--	--

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査項目		対象の根拠（目標等との関連）	数値データの単位
a	衣食住に関する実験・実習の題材数	教科の内容	個
b	高齢者や乳幼児との触れ合いについて取り上げられている箇所数	第1章総説 第2節 家庭科改訂の趣旨及び要点 (3)各科目の内容の改善	個
c	「契約」について取り上げられているページ	第1章総説 第2節 家庭科改訂の趣旨及び要点 (3)各科目の内容の改善	ページ
d	発展的な内容を取り上げている箇所数	教科の内容	個

イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b、c、d との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 衣食住に関する実験・実習の内容
- b 高齢者や乳幼児との触れ合いに関する内容
- c 契約に関する内容
- d 発展的な内容の概要

<その他>

- * 防災や自然災害の扱い
- * 持続可能な社会づくりの扱い
- * 性差・家族に関する表現
- * オリンピック、パラリンピックの扱い
- * 「成年年齢の18歳への引き下げ」の扱い

② 調査対象事項を設定した理由等

- ・ 学習指導要領に、各科目に相当する総授業時数のうち、原則として10分の5以上を実験・実習に相当することとあることから、実験・実習の題材について調査する。
- ・ 高齢化及び少子化の進展に対応して、「家庭基礎」では、子育て支援、乳幼児と関わるための基礎的な技能に応じた適切な関わり方の工夫などに関する内容を取り上げている。また、高齢者については、尊厳と介護（認知症を含む）について基礎的な技能を取り上げていることから、高齢者と乳幼児の触れ合いについて調査する。

- ・ 消費生活・環境については、成年年齢の引下げに伴い、契約の重要性や消費者保護の仕組みに関する内容を充実することから、契約について調査する。
- ・ 学習指導要領に、内容の範囲や程度等を示す事項は、当該科目を履修する全ての生徒に対して指導するものとする内容の範囲を示したものであり学校において必要がある場合には、この事項にかかわらず指導することができるため、発展的な内容について取り上げている箇所について調査する。
- * 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- * 生徒には、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される。学習指導要領に基づき、正しい理解ができるように、持続可能な社会づくりの扱いについて、調査する。
- * 性差・家族に関する表現については、「東京都男女平等参画基本条例」に基づき、男女が互いの違いを認めつつ、個人として尊重される男女両性の本質的平等の理念を生徒に理解させ、その具現化を図るため、適正な男女平等教育を推進するという視点より、男女が家庭生活における活動に對等な立場で参画する観点や家庭観について取り上げられている内容について調査する。
- * 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- * 成年年齢引き下げは2018年6月20日公布、2022年4月1日施行であり、高等学校等における消費者教育の推進が求められているため、「成年年齢の18歳への引き下げ」について調査する。

(2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫
- ② ユニバーサルデザインの視点
- ③ デジタルコンテンツの扱い

「別紙1」【(1)内容 ア 調査研究の総括表】(家庭基礎)

調査項目			a	b	c	d	(全体のページ数)
発行者	教科書番号	教科書名	の衣食住に関する実験・実習の教材数	い高齢者や乳児と触れ合っている箇所数	ら「契約」について取り上げられているページ	いる発展的な内容を取り上げている箇所数	
			個	個	ページ	個	
東書	701	家庭基礎 自立・共生・創造	82	12	5	0	230
教図	702	未来へつなぐ 家庭基礎 365	86	8	8	0	234
教図	703	家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来	118	8	10	0	250
教図	704	Survive!! 高等学校 家庭基礎	125	13	6	1	228
実教	705	家庭基礎 気づく力 築く未来	109	12	6	0	258
実教	706	Agenda 家庭基礎	58	7	10	0	216
実教	707	図説 家庭基礎	78	10	10	0	238
開隆堂	708	家庭基礎 明日の生活を築く	76	6	4	0	226
大修館	709	クリエイティブ・リビングCreative Living 『家庭基礎』で生活をつくろう	95	7	10	0	274
第一	710	高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる	88	16	8	0	228
平均値			91.5	9.9	7.7	0.1	238.2

・aの「衣食住に関する実験・実習の教材数」は、実験、実習等の数を数えた。

・bの「高齢者や乳児と触れ合いについて取り上げられている箇所数」は、扱っている題材・項目数を数えた。

・cの「「契約」について取り上げられているページ」は、巻頭・巻末資料を含めて数えている。

・dの「発展的な内容を取り上げている箇所数」は、学習指導要領で扱う内容以外の発展的な内容について扱っている題材・項目等を数えた。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a 衣食住に関する実験・実習の題材 発行者 東書701】(家庭基礎)

ア 食生活と健康	イ 衣生活と健康	ウ 住生活と住環境
<p>・毎日の生活の振り返り、生活リズムのチェック (P87)</p> <p>・BMIの計算 (P88)</p> <p>・体内での水の働きと、水分摂取の必要性を考える (P90)</p> <p>・不溶性と水溶性の食物繊維がとれる食材と、それらを利用した料理を調べる (P91)</p> <p>・さまざまな国の主食と、気候との関連を分析する (P92)</p> <p>・小麦粉のグルテンを確かめる (P93)</p> <p>・肉や魚の部位や種類による、脂質の量や種類の違い (P94)</p> <p>・サラダ油やマーガリンの原料を調べる (P95)</p> <p>・たんぱく質の補足効果 (P97)</p> <p>・たんぱく質の摂取不足によって起こる、体の不調について調べる (P97)</p> <p>・鉄の吸収を高めるために、ビタミンCと組み合わせで摂取する調理法を工夫する (P98)</p> <p>・苦手な食品の栄養素を調べ、代わりになる食品を調べる 好きな食品でもとりすぎに注意する食品がないか調べる (P99)</p> <p>・市販のサラダの量と、その中の緑黄色・淡色野菜の量も量る (P100)</p> <p>・食品添加物がなかったら、どのような食生活になるか考える (P127)</p> <p>・近年のニュースになった食中毒について、原因や症状を調べる (P104)</p> <p>・「食事バランスガイド」の活用 (P108)</p> <p>・P111の夕食を、地域の伝統食材などを取り入れた献立になるよう工夫する 妊婦期に栄養素をより多く必要とする理由を考える (P110)</p> <p>・みそ12g、砂糖(上白糖)12g、バター12gは、それぞれ小さじ何杯分か計算する (P114)</p> <p>・豚肉と青菜の丼 (P118)</p> <p>・じゃがいもとわかめのみそ汁 (P118)</p> <p>・麻婆豆腐丼 (P118)</p> <p>・トマトソースパスタ (P119)</p> <p>・こころ野菜のスープ (P119)</p> <p>・キャベツとベーコンのパスタ (P119)</p> <p>・炒飯 (P120)</p> <p>・ブロッコリーとじゃこのさっと煮 (P120)</p> <p>・魚のムニエル (P120)</p> <p>・おにぎり (P121)</p> <p>・卵焼き (P121)</p> <p>・野菜の青ゆで卵焼き (P121)</p> <p>・魚の照り焼き (P122)</p> <p>・ほうれんそうのおひたし (P122)</p> <p>・かぶの甘酢漬け (P122)</p> <p>・野菜碗 (P122)</p> <p>・クレープ (P122)</p> <p>・ヨーグルトゼリー (P122)</p> <p>・桜餅 (P122)</p> <p>・きゅうりの酢の物 (P124)</p> <p>・にんじんのポタージュ (P124)</p> <p>・にんじんときのこのいため煮 (P124)</p> <p>・キャベツとベーコンの洋風煮物 (P124)</p> <p>・野菜のソテー (P125)</p> <p>・じゃがいものリヨン風 (P125)</p> <p>・ひじきとだいずの煮物 (P125)</p> <p>・なすとトマトの中華風あえ物 (P125)</p> <p>・食料自給率を高めるために、私たちにできることは何か、話し合う (P128)</p> <p>・食品の安全性が疑われた過去の事例と対策を調べる (P129)</p> <p>・食品ロスについて説明している (P131)</p> <p>・食環境の持続可能性について、食品を扱っている企業の取り組みを調べる (P131)</p>	<p>・色や柄のある布や紙を用意し、色や柄を考える (P139)</p> <p>・天然繊維の原料は、現在どの地域で栽培されているか 化学繊維の普及にはどのような背景があったか (P142)</p> <p>・オーガニックコットンや化繊用コットンで「手で紡ぐ」工程を体験する (P143)</p> <p>・手待ちの服の布目を拡大鏡などで観察し、織りの種類や伸びの方向を比較する (P144)</p> <p>・吸水性を確かめる (P145)</p> <p>・就寝時や野外活動時に適した衣類に必要な性能 衣類で皮膚に痕がついたり身体への負担について考える (P145)</p> <p>・あなたの家には機能性素材を用いた被服があるか調べる (P147)</p> <p>・界面活性剤の働きを確かめる (P150)</p> <p>・手洗いの方法を確かめる 水溶性、油性のしみ抜き方法を確かめる (P152)</p> <p>・洗剤の成分を調べる 成分のうち、洗浄性以外の働きがある添加物を調べ、添加されている理由を考える (P153)</p> <p>・衣服の形、構造、素材、縫い代を調べる (P154)</p> <p>・民族衣装の構成を調べる (P154)</p> <p>・浴衣を着る (P156)</p> <p>・ポタン付け (P157)</p> <p>・まつり縫い (P157)</p> <p>・並縫い (P157)</p> <p>・半返し縫い (P157)</p> <p>・本返し縫い (P157)</p> <p>・千鳥がけ (P157)</p> <p>・残り布や古着の布を利用して、小物を作ろう (P157)</p> <p>・被服購入から消費までの行動を見直そう (P158)</p> <p>・冷暖房器具を多用しない方法を考え、環境に配慮した生活を工夫する (P160)</p> <p>・ユニバーサルデザインの被服に求められることは何か考える (P161)</p>	<p>・間取りの変化の1と3の違いを考える キッチン配置について、それぞれのメリット・デメリットを挙げる (P165)</p> <p>・平面図から空間や生活を読み取り、考える 物件情報を読み取り、考える (P167)</p> <p>・あなたの住居を調べる (P169)</p> <p>・あなたが長く過ごす場所は、家具などの転倒・落下対策をしているか調べる (P170)</p> <p>・住居内の事故の例を見て、考える (P171)</p> <p>・校舎の中の、暑い・寒いと感じる部屋、通風や騒音の問題がある場所の改善策を考える (P173)</p> <p>・インテリア・デコレーションを工夫する (P175)</p> <p>・校舎をコンバージョンしてその活用方法を考える (P179)</p> <p>・あなたの住む地域の課題を1つ挙げ、高校生の立場からまちづくりに参画する方法を考え、できることから取り組む (P179)</p> <p>・シェアハウジングのメリット・デメリットを話し合う (P179)</p>
(49)	(23)	(10)

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a 衣食住に関する実験・実習の題材 発行者 教図702】(家庭基礎)

ア 食生活と健康	イ 衣生活と健康	ウ 住生活と住環境
<p>あなたのBMIは？ (P70) 朝ごはんを食べよう (P71) 私たちは脂質を摂りすぎているか？考える (P78) ファイトケミカルを探す (P83) スーパーで生鮮食品の表示を見ている (P86) 加工食品の表示を見る (P87) 必要なエネルギーを調べる (P90) 食事バランスガイドを見ている (P92) 自分なりの献立を考える (P94) だしをとる (P98) 魚をさばく (P99) ごはん (P100) おむすび (P100) おかゆ (P100) 炊き込みごはん (P101) 三色丼 (P101) トマトソースパスタ (P102) ナンゴレン (P102) 余りものを活用する (P102) 餃子 (P103) 水餃子をつくらう (P103) 麻婆豆腐 (P103) 蛸の照り焼き (P104) 鶏の唐揚げ (P104) 煮込みハンバーグ (P105) ゴーヤチャンプルー (P105) 卵焼き (P106) だし巻き卵 (P106) ゆでたまご (P106) 温野菜 (P107) ほうれん草のごま和え (P107) なすのみそ田楽 (P108) きんぴらごぼう (P108) きゅうりの浅漬け (P108) かぼちゃの煮物 (P109) 生野菜とディップソース (P109) ポテトフライ (P109) カッテージチーズをつくる (P109) すまし汁(春、夏、秋、冬) (P110) 豆腐とわかめのみそ汁 (P111) ミネストローネ (P111) 粟米湯 (P111) もつとみそ汁を楽しむ (P111) 白玉あんみつ (P112) チョコチップスコーン (P112) バイナップルシャーベット (P112) 牛乳豆腐 (P112) 緑茶 (P113) 抹茶 (P113) 麦茶 (P113) 料理に合わせた飲み物を楽しむ (P113) 使い切りマヨネーズ うずらの卵で作る (P114) 使い切りマヨネーズ 豆乳を使う (P114) フレンチドレッシングをつくる (P114) 市販のマヨネーズと比べる (P114) アレルギー食材を使わず調理 (P115) 電子レンジを使って時短で調理 (P115) 高糖な食材を代替してみる (P115) エコな調理にチャレンジ (P115) 料理を言葉で表現する (P116) チェックしてみよう。環境に配慮した食生活できている？ (P118) 食品ロスについて考える (P122)</p>	<p>新しい機能をもつ繊維を探そう (P130) 自分の衣服を調べよう (P134) 界面活性剤のはたらき (P137) 自分で洗濯してみよう (P138) しみ抜きしてみよう (P139) アイロンがけしてみよう (P139) 手洗いしてみよう (P139) 並縫い (P141) まつり縫い (P141) ボタンつけ (P141) 手ぬぐいを使ったマイバッグ (P141) 衣服で工夫を (P142) 衣服のタグから考えよう (P144) ファストファッションとエンカルファッションを比較してみよう (P146)</p>	<p>人間の住まいと動物の巣の違い (P149) ハザードマップを調べる (P150) いろいろな物件を見る (P156) いろいろな物件を見る (P156) どちらの家に住みたい？ (P157) 地域のルールを探す (P158) 近隣への迷惑の原因となる音の例 (P158) どうやって収納する？ (P160) 室内の清掃、手入れをする (P160) 高校の跡地の利用を考える (P163) 世界の住宅事情をと比較して、日本の新築信仰やそれによって起こる問題を考える (P166)</p>

(62)

(14)

(10)

(86)

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a 衣食住に関する実験・実習の題材 発行者 教図703】(家庭基礎)

ア 食生活と健康	イ 衣生活と健康	ウ 住生活と住環境
<p>・自分に考えに近いものを選ぶ あなたが食事をするとき、一番気にかけるのは何？ (P76)</p> <p>・BMIを計算してみよう (P76)</p> <p>・朝食を食べよう (P77)</p> <p>・スポーツと食事 体重や毎日の体調の変化を記録する (P79)</p> <p>・「ご食」を探そう (P81)</p> <p>・あなたにとって思い出に残っている食事はいつ、どのような食事だったか (P81)</p> <p>・あなたが食事をするとき、一番気にするのは何？ (P81)</p> <p>・自分の価値観に一番近いものを選ぶ お腹が空いたとき、何で空腹を満たす？ (P82)</p> <p>・空腹に食べたいもの (P82)</p> <p>・グルテンを見よう (P86)</p> <p>・見えない油に注意する (P88)</p> <p>・地域の魚介類の加工食品を探す (P90)</p> <p>・おすきであんこをつくる (P91)</p> <p>・ファイトケミカルを探そう (P94)</p> <p>・お腹が空いたとき、何で空腹を満たす？ (P95)</p> <p>・自分の日常に近いものを選ぶ 加工食品を購入するとき、食品の表示を確認している？ (P96)</p> <p>・加工食品を購入するとき、食品の表示を確認するか (P101)</p> <p>・自分の考え方に近いものを選ぶ 一人で家にいるときお腹が空いたら、自分で料理をつくる？ (P102)</p> <p>・日常生活から自分の身体活動レベルをチェックする (P102)</p> <p>・自分なりの献立を考える (P106)</p> <p>・いっしょに食べる人に配慮する (P106)</p> <p>・だしをとる (P110)</p> <p>・魚をさばく (P111)</p> <p>・ごはん (P112)</p> <p>・おむすび (P112)</p> <p>・おかゆ (P112)</p> <p>・炊き込みごはん (P113)</p> <p>・三色丼 (P113)</p> <p>・トマトソースパスタ (P114)</p> <p>・余りものを活用する (P114)</p> <p>・ナンゴレン (P114)</p> <p>・餃子 (P115)</p> <p>・麻婆豆腐 (P115)</p> <p>・鮭の照り焼き (P116)</p> <p>・鶏の唐揚げ (P116)</p> <p>・煮込みハンバーグ (P117)</p> <p>・ゴーヤチャンプルー (P117)</p> <p>・卵焼き (P118)</p> <p>・だし巻き卵 (P118)</p> <p>・ゆでたまご (P118)</p> <p>・温野菜 (P119)</p> <p>・ほうれん草のごま和え (P119)</p> <p>・なすのみそ田楽 (P120)</p> <p>・きんぴらごぼう (P120)</p> <p>・きゅうりの浅漬け (P120)</p> <p>・かぼちゃの煮物 (P121)</p> <p>・生野菜とアイツソース (P121)</p> <p>・ポテトフライ (P121)</p> <p>・カッターチーズをつくろう (P121)</p> <p>・すまし汁(春、夏、秋、冬) (P122)</p> <p>・豆腐とわかめのみそ汁 (P123)</p> <p>・ミネストローネ (P123)</p> <p>・粟米湯 (P123)</p> <p>・もつとみそ汁を楽しむ (P123)</p> <p>・白玉あんみつ (P124)</p> <p>・チョコチップスコーン (P124)</p> <p>・ハイソップブルシヤベットの (P124)</p> <p>・牛乳豆腐 (P124)</p> <p>・緑茶 (P125)</p> <p>・抹茶 (P125)</p> <p>・うずらの卵で、使い切りマヨネーズをつくろう (P126)</p> <p>・豆乳を使ってマヨネーズをつくろう (P126)</p> <p>・フレンチドレッシングをつくろう (P126)</p> <p>・ゼラチンでキウイフルーツゼリーをつくろう (P126)</p> <p>・寒天でキウイフルーツゼリーをつくろう (P126)</p> <p>・ゼラチン・寒天のゼリーをつくろう (P126)</p> <p>・アレルギー食材を使わず調理 (P127)</p> <p>・電子レンジを使って時短で調理 (P127)</p> <p>・高価な食材を代替してみる (P127)</p> <p>・エコな調理にチャレンジ (P127)</p> <p>・自分の感覚に近いものを選ぶ いっしょに食事をしている相手のマナーで一番嫌だと感じるのは？ (P128)</p> <p>・料理を言葉で表現してみよう (P128)</p> <p>・自分の考えに近いものを選ぶ 野菜などを買うとき、国産や地元産のものを選ぶ？ (P130)</p> <p>・チェックしよう 環境に配慮した食生活 (P130)</p> <p>・野菜などを買うとき、国産や地元産のものを選ぶか (P133)</p> <p>・食品ロスについて考える (P134)</p>	<p>・自分の考え方に近いものを選ぶ 高校の制服は必要だと思う？ (P136)</p> <p>・高校の制服は必要だと思うか (P139)</p> <p>・自分の考え方に近いものを選ぶ 衣服の着心地には何が影響していると思う？ (P140)</p> <p>・新しい機能をもつ繊維を調べ (P142)</p> <p>・衣服の着心地には何が影響していると思うか (P145)</p> <p>・自分の考え方に近いものを選ぶ 着ていない衣服を大量にため込んでしまう原因を考える (P146)</p> <p>・自分の衣服を調べ (P146)</p> <p>・界面活性剤のはたらき (P150)</p> <p>・コインランドリーの普及 (P151)</p> <p>・自分で洗濯してみよう (P152)</p> <p>・しみ抜き (P153)</p> <p>・アイロンがけ (P153)</p> <p>・手洗い (P153)</p> <p>・着ていない衣服を大量にため込んでしまう原因は何だろうか (P154)</p> <p>・並縫い (P155)</p> <p>・まつり縫い (P155)</p> <p>・ボタンつけ (P155)</p> <p>・手ぬぐいマイバッグ (P155)</p> <p>・自分の考え方に近いものを選ぶ 着られなくなった衣服をどうする？ (P156)</p> <p>・衣服で工夫 (P157)</p> <p>・衣服のタグから考える (P158)</p> <p>・着られなくなった衣服をどうするか (P159)</p> <p>・ファストファッションとエンカルファッションを比較する (P160)</p>	<p>・自分の考え方に近いものを選ぶ あなたが住まいに一番求めるものは？ (P162)</p> <p>・帰ったらまず何をするか考える (P163)</p> <p>・人間の住まいと動物の巣の違い (P163)</p> <p>・自分の考え方に近いものを選ぶ 地震などの災害に対して備えようと思う？ (P164)</p> <p>・ハザードマップを調べ (P164)</p> <p>・地震などの災害に対して備えようと思うか (P167)</p> <p>・自分の価値観に近いものを選ぶ 卒業してひとり暮らしをするとしたら、住宅選びで一番重視するのは？ (P168)</p> <p>・いろいろな物件を見る (P170)</p> <p>・平面図を読み取る (P171)</p> <p>・室内の清掃、手入れ (P173)</p> <p>・近隣への迷惑の原因となる音の例 (P175)</p> <p>・卒業してひとり暮らしをするとしたら、住宅選びで一番重視するのは？ (P175)</p> <p>・自分の理想に近いものを選ぶ 10年後、どんな家に暮らしていたい？ (P176)</p> <p>・高校の跡地の利用を考える (P176)</p> <p>・バリアフリーすぎない住宅の必要性について考える (P178)</p> <p>・10年後、どんな家に暮らしていたい？ (P180)</p> <p>・世界の住まいを調べる (P180)</p> <p>・世界の住宅事情を比較して、日本の新興信仰やそれによって起こる問題を考える (P181)</p>
(77)	(23)	(18)

(118)

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a 衣食住に関する実験・実習の題材 発行者 教図704】(家庭基礎)

ア 食生活と健康	イ 衣生活と健康	ウ 住生活と住環境
<ul style="list-style-type: none"> ・食生活を振り返る (P58) ・居住地の食文化をあげる (P59) ・未来の自分、社会のための食べ方を考える (P59) ・食品成分表や商品の表示で栄養素の種類、量を調べる (P60) ・水分補給を考える (P61) ・身近な嗜好品のエネルギー量を計算する (P61) ・食品成分表で脂質含有量を調べる (P64) ・食品に含まれるトランス脂肪酸含有量を調べる (P65) ・植物油類の原材料を調べる (P65) ・骨量は何歳頃最大になるのか (P68) ・賞味期限について考える (P70) ・食品について調べる(食品表示、保存法) (P72) ・食中毒について調べる (P74) ・食品の安全に関する記事を新聞、インターネットで調査 (P75) ・食事例について改善点を考える (P76) ・家族の非常食を考える (P78) ・献立の立て方、チェック (P75) ・6つの基礎食品群を用いた食事改善を考える (P81) ・つくってあげたい、つくってもらいたい、一緒につくりたい料理はなにか (P84) ・1年間で自分で調理して食べた回数を考える (P87) ・調理作業工程で注意、配慮すべき点を挙げる (P85) ・塩分濃度と調味料の計算 (P87) ・つるつとやで焼く おしゃれたれ (P88) ・あつあつマト煮チキン (P89) ・簡単単身シーシューマイ (P89) ・ぐるぐるいんげんチーズロール (P90) ・カリカリガーリックステーキ (P90) ・こんがり手羽先ハーブ焼き (P91) ・カラフルガリバタ炒め (P91) ・カラッとジュシー唐揚げ (P92) ・しっとりササガチキンの調理 (P92) ・和風だしのとじ方 (P93) ・鶏肉の部位、調理について調べる (P93) ・五目炊き込みご飯 (P94) ・シーフードパスタ (P94) ・マカロニグラタン (P95) ・さば缶詰カレー (P95) ・魚の鰯照り焼き (P96) ・さばのみそ煮 (P96) ・ポーカツレツ (P97) ・麻婆豆腐 (P97) ・きんぴらごぼう (P98) ・ひじきの炒め煮 (P98) ・かぼちゃの煮物 (P98) ・ほうれんそうのおひたし (P98) ・野菜の浅漬け (P99) ・コールスロー (P99) ・涼拌三絲 (P99) ・すまし汁 (P100) ・茶碗蒸し (P100) ・コンソメジュリエンス (P100) ・粟米湯 (P100) ・フルーツゼリー (P102) ・フルーツ大福 (P101) ・納豆腐 (P101) ・わらび餅 (P101) ・もちもちバナナケーキ (P102) ・アイスボックスクッキー (P102) ・ミニ中華あんまん (P102) ・リンゴジャム (P102) ・献立作成 (P103) ・ベジタブルライス (P104) ・ミックスビーンズのサラダ (P104) ・カレー餅 (P104) ・おにぎりのおじや (P105) ・ちぎるだけサラダ (P105) ・のり野菜スープ (P105) ・イタリアントマト (P105) ・もやしの焼肉風味炒め (P105) ・ふんわり卵トースト (P105) ・持続可能な社会を目指すため、食生活の自立のための食生活を考える (P106) ・食品の原産国と品目別自給率を調べる (P107) ・食生活の自立度チェック (P109) ・食品についての偏ったイメージを話し合う、新技術を調べる (P109) ・将来の自分らしい食生活のあり方を思い描く、(P105) ・ふんわりカラバタ炒飯の調理 (P110~111) ・お弁当を考えて、作る (P112~113) 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服を着る時、重視していることを考える (P30) ・学生服について考える (P34) ・トップアスリートを支える競技用ウェアづくりの技術について調べる (P34) ・通学時にふさわしい服の着こなしを考える (P35) ・「死蔵衣服」について考える (P36) ・誰もが着やすい服について考える (P37) ・エンカルなタグや表示を調査 (P39) ・衣服計画、組成表示や取り扱い表示を生活に活用する (P39) ・自分の服で気候に合った組み合わせを考える (P40) ・布や繊維の再利用 裂織、羊毛フェルト (P30) ・ポリ袋を用いた衣服簡易実験 (P44) ・素材や特徴を生かした着心地の良い服の選択 (P45) ・自分の衣服の素材調べ、着装の検討 (P45) ・和服について外国人に説明する (P46) ・手ぬぐいの利用 (P47) ・和服や和の布の活用、国内外の衣生活文化の調査 (P47) ・衣類の管理を考える (P48) ・災害時の衣生活を考える (P49) ・並縫い (P51) ・半返し縫い (P51) ・まつり縫い (P51) ・衣服の手入れや管理に使用しているものの使い方、注意点を確認 (P51) ・50年後に自分が着ている衣服を考える (P52) ・衣服の再資源化を考える (P53) ・衣服の製造国を調べる (P53) ・エンカルファッションの工夫を考える (P53) ・ボタンつけ (P54~53) ・アップサイクル (P56~57) 	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいについて考える (P114) ・自宅の住空間の使い方、改善点を考える (P115) ・ライフステージと住まい方を考える (P115) ・布団とベッドのダリットダリットを考える (P116) ・1人暮らしの住まいの選択 (P119) ・自宅の動線、家具の配置の見直し (P119) ・住宅広告から住みたい家を探す (P119) ・事故、災害時の行動を考える (P120) ・家庭内の事故、防止対策を考える (P121) ・家の中の地震対策、避難場所を考える (P123) ・防犯、防災について考える (P123) ・汚部屋、汚家にならないための実践を意見交換する (P124) ・近隣の迷惑行為に対しての対応を話し合う (P127) ・快適な温度、湿度、明るさを保つ工夫を考える (P127) ・住まいの日常の手入れや維持管理について家族と話し合う (P127) ・掃除用洗剤やカビ取り剤の種類、特徴、使い方を調べる (P127) ・将来住みたい街や住まいを考える (P128) ・居住地の住環境の良いところや改善点を挙げる (P129) ・多様な住まいや住まい方を調べ、自分らしい住生活を考える (P131) ・住まいについての悩みにアドバイスをする (P132~133)
(77)	(28)	(20)

(125)

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a 衣食住に関する実験・実習の題材 発行者 実教705】(家庭基礎)

ア 食生活と健康	イ 衣生活と健康	ウ 住生活と住環境
<p>・自分の住んでいる地域の郷土料理 郷土料理が根付いた理由 (P92)</p> <p>・郷土料理の調査 (P92)</p> <p>・食生活チェック (P94)</p> <p>・共食の機会を増やす場面の検討 (P96)</p> <p>・食感を覚えた味付けの表現 (P97)</p> <p>・食事内容の確認と栄養バランスのチェック (P98)</p> <p>・マヨネーズの調理 (P101)</p> <p>・ノンカロリ-食品の調査 (P106)</p> <p>・旬の食材を列挙 (P108)</p> <p>・調理道具の名称と利用目的 (P144)</p> <p>・魚のなべ照り焼き (P122)</p> <p>・すまし汁 (P123)</p> <p>・青菜のごまあえ (P123)</p> <p>・鶏肉のトマトソース煮込み (P124)</p> <p>・フレンチサラダ (P125)</p> <p>・マドレーヌ (P125)</p> <p>・マヨネーズソース (P125)</p> <p>・回鍋肉 (P126)</p> <p>・粟米湯 (P127)</p> <p>・奶豆腐 (P127)</p> <p>・タコライス (P128)</p> <p>・フルーヨーグルトゼリー (P128)</p> <p>・鮭とグリーンアスパラガスの豆乳クリームスパゲッティ (P129)</p> <p>・お豆のカラフルサラダ (P129)</p> <p>・ちらしずし (P130)</p> <p>・すき焼きどんぶり (P130)</p> <p>・マカロニグラタン (P131)</p> <p>・炒飯 (P131)</p> <p>・肉じゃが (P132)</p> <p>・麻婆豆腐 (P132)</p> <p>・ひじきの煮物 (P133)</p> <p>・コールスローサラダ (P133)</p> <p>・三色野菜のナムルの調理 (P133)</p> <p>・豚汁 (P134)</p> <p>・ミネストローネ (P134)</p> <p>・桜餅 関東風 (P135)</p> <p>・桜餅 関西風 (P135)</p> <p>・しほり出しクッキー (P135)</p> <p>・餃子 (P136)</p> <p>・簡単ピザ (P137)</p> <p>・手打ちうどん (P137)</p> <p>・日本の食品自給率についてのワーク (P138)</p> <p>・食品ロス減少により食品自給率が上昇する理由を考える (P139)</p> <p>・フードファイテムの事例を探す (P140)</p> <p>・エコクッキングのチェック (P141)</p> <p>・食品ロスについて考える (P142)</p> <p>・和食を英語で紹介 (P142)</p> <p>・QRマークが付けられている食品を探す (P143)</p> <p>・缶詰や瓶詰め食品、ケム編集食品表示について海外との違いを調べる (P143)</p> <p>・食生活を取りまく課題を書き出す (P143)</p> <p>・食の安全確保についての考えをまとめる (P143)</p> <p>・嫌いな食品の種類 (P253)</p> <p>・飯の炊き方 (P252)</p> <p>・かつおぶしだし (P252)</p> <p>・混合だし (P252)</p> <p>・煮干しだし (P252)</p>	<p>・季節ごとの着なごきを考える (P146)</p> <p>・衣服の特徴や機能を考える (P150)</p> <p>・吸水・速乾実験 (P153)</p> <p>・燃焼実験 (P153)</p> <p>・繊維加工技術の確認 (P155)</p> <p>・衣服を購入するときに気にすることは何かを考える (P153)</p> <p>・界面活性剤のはたらき実験 (P159)</p> <p>・しみ抜きの方法 (P161)</p> <p>・衣服購入の際サイズ、デザイン以外に確認すること (P161)</p> <p>・衣生活のエシカルについて考える (P162)</p> <p>・激安シャツを題材にフェルトロードを考える (P163)</p> <p>・自分の着ている服の原産国をチェックする (P163)</p> <p>・洋服と和服の違いについて考える (P164)</p> <p>・浴衣の着付け (P166)</p> <p>・浴衣のたたみ方 (P167)</p> <p>・手縫い(糸通し) (P168)</p> <p>・手縫い(玉結び) (P168)</p> <p>・手縫い(玉どめ) (P168)</p> <p>・手縫い(並縫い) (P168)</p> <p>・手縫い(半返し縫い) (P168)</p> <p>・手縫い(まつり縫い) (P168)</p> <p>・手縫い(たてまつり縫い) (P168)</p> <p>・待ち針の打ち方 (P169)</p> <p>・ボタンのつけ方 (P169)</p> <p>・縫い代のしまつ(ふちかがりミシン) (P169)</p> <p>・縫い代のしまつ(二度縫い) (P169)</p> <p>・縫い代のしまつ(はしミシン) (P169)</p> <p>・縫い代のしまつ(三つ折り縫い) (P169)</p> <p>・スナップのつけ方 (P169)</p> <p>・サリーの着方 (P171)</p> <p>・和服にかかわる言い回しの意味や語源を調べる (P173)</p>	<p>・写真の家の材料を考える (P176)</p> <p>・平常時と災害時の住まいの機能を考える (P177)</p> <p>・一足制のメリット・デメリットを考える (P178)</p> <p>・和風木製住宅の特性と現代に生かせる点を考える (P179)</p> <p>・高校卒業後の住まいについて考える (P180)</p> <p>・計画図に家具を書き込む (P183)</p> <p>・動線計画、家具の配置、家族の暮らしを考える (P183)</p> <p>・室内環境に関するワーク (P184)</p> <p>・住まいの管理について考える (P187)</p> <p>・室内を改善する工夫を考える (P187)</p> <p>・校内、街中の安全点検ワーク (P188)</p> <p>・自宅以外で被災した場合を考える (P191)</p> <p>・古民家の再生を考える (P192)</p> <p>・住環境、街づくり、法律について考える (P195)</p> <p>・これからの住まいについて考えるワーク (P197)</p> <p>・家の中の安全対策 (P198)</p> <p>・非常持ち出し袋を準備しよう (P198)</p> <p>・ローリングストックの方法 (P198)</p> <p>・ポリ袋炊飯の調理 (P199)</p> <p>・新聞紙簡易スリッパの製作 (P199)</p> <p>・非常時のトイレの準備 (P199)</p> <p>・地域の避難所での高校生の役割、できることを考える (P199)</p>
(56)	(31)	(22)

(109)

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a 衣食住に関する実験・実習の題材 発行者 実教706】(家庭基礎)

ア 食生活と健康	イ 衣生活と健康	ウ 住生活と住環境
<p>・3日間の食事調査 (P85)</p> <p>・塩分濃度の異なるみそ汁の官能検査 (P87)</p> <p>・食生活の振り返り (P87)</p> <p>・日ごとの食事、調理実習の食事と食品群別摂取量の目安の比較 (P91)</p> <p>・油の乳化 マヨネーズの調理 (P95)</p> <p>・経口補水液をつくってみよう (P98)</p> <p>・家庭、学校の備蓄食品調査 (P101)</p> <p>・好きな食品、苦手な食品に含まれる栄養素調査 (P87)</p> <p>・食品表示、食品添加物の調査 (P105)</p> <p>・食中毒予防の手立てを考える (P107)</p> <p>・食に関する事故の防止策を考える (P108)</p> <p>・食の安全性の管理・評価・担保している機関の調査 (P109)</p> <p>・食品自給率向上の利点、プラスチック製品の使用状況の調査 (P111)</p> <p>・献立作成 (P113)</p> <p>・調理実習時の廃棄率計算、調理工程の検討 (P115)</p> <p>・三色丼 (P116)</p> <p>・きのこペーコンのスパゲッティ (P117)</p> <p>・すまし汁 (P118)</p> <p>・魚の煮つけ (P119)</p> <p>・青菜のおひたし (P119)</p> <p>・五目あんかけ焼きそば (P120)</p> <p>・杏仁豆腐 (P120)</p> <p>・シーフードドリア (P121)</p> <p>・グリーンサラダ (P121)</p> <p>・残り野菜でドライカレー (P122)</p> <p>・おからクッキー (P122)</p> <p>・切り干し大根とツナのサラダ (P123)</p> <p>・トマト煮込み (P123)</p> <p>・ポリ袋炊飯 (P123)</p>	<p>・ポリ袋を用いた衣服簡易実験 (P127)</p> <p>・寒暖による着方の工夫を考える (P127)</p> <p>・災害時の避難所で寒さを防ぐ着方を考える (P129)</p> <p>・肌着の効果、衣服を着る際の留意点をつけるポイントを考える (P129)</p> <p>・繊維、織物、編み物の特徴に応じた着装、機能的繊維の構造調べ (P133)</p> <p>・界面活性剤のはたらき実験 (P135)</p> <p>・アイロンがけ (P137)</p> <p>・衣服に付着する汚れの種類と洗濯方法の検討 (P137)</p> <p>・衣服を通信販売で購入する際のメリット、デメリットを考える (P138)</p> <p>・衣服に関する事故をインターネットで閲覧する (P141)</p> <p>・衣服の購入から日常の手入れまでに必要な管理を考える (P141)</p> <p>・衣服の多様性について考える (P143)</p> <p>・Tシャツを片手で着脱し、着脱を容易にするための工夫を考える (P143)</p> <p>・ライフステージの変化に伴った着脱のしやすさ考える (P144)</p> <p>・衣服の補修 並縫い (P144)</p> <p>・衣服の補修 返し縫い (P144)</p> <p>・衣服の補修 まつり縫い (P144)</p> <p>・衣服の補修 ボタンつけ (P144)</p> <p>・持続可能な衣生活に向けた行動を考える (P145)</p>	<p>・1人暮らしの優先順位を考える (P149)</p> <p>・ライフスタイルに合った起居様式、理想の間取りを考える (P151)</p> <p>・人とのかわり、住まい方が求められる背景を考える (P153)</p> <p>・健康のための室内環境対策、バリアフリー、ユニバーサルデザイン調査 (P155)</p> <p>・居住地の災害調査 (P156)</p> <p>・ハザードマップの確認、避難ルートの確認、連絡方法の話し合い (P157)</p> <p>・伝統的な日本の住宅と、現代の環境共生住宅の環境への配慮の違い (P159)</p> <p>・住まいと環境共生を考える (P161)</p> <p>・空き家がある地域で発生する問題 (P161)</p> <p>・住居のメンテナンスを考える (P161)</p>
(29)	(19)	(10)

(58)

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a 衣食住に関する実験・実習の題材 発行者 実教707】(家庭基礎)

ア 食生活と健康	イ 衣生活と健康	ウ 住生活と住環境
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に配給される食料を栄養面から考える (P96) ・ポリ袋調理 ご飯の炊き方 (P97) ・ポリ袋調理 肉たっぷり和風カレー (P97) ・ポリ袋調理 切り干し大根のつなあえ (P97) ・ポリ袋調理 しとけケーキ (P97) ・ポリ袋調理 スープ (P97) ・未来の食卓を考える (P105) ・調理と中食のバランス (P111) ・飯の炊き方 (P117) ・かつおぶしだし (P117) ・混合だし (P117) ・煮干しだし (P117) ・ぶりのなべ照り焼き (P121) ・すまし汁 (P121) ・青菜のごまあえ (P120~121) ・おにぎり (P122) ・肉野菜炒め (P123) ・卵焼き (P123) ・さつまいものレモン煮 (P123) ・即席漬け (P125) ・鶏肉のトマトソース煮こみ (P125) ・フレンチサラダ (P125) ・麻婆豆腐 (P127) ・粟米湯 (P127) ・マドレーヌ (P128) ・奶豆腐 (P128) ・いちご大福 (P128) ・煎茶のいれ方 (P129) ・煎茶の飲み方 (P129) ・紅茶のいれ方 (P129) ・紅茶の飲み方 (P129) ・ティーバッグ (P129) ・ドリップバッグコーヒー (P129) ・簡単ピザ (P131) ・野菜コンソメスープ (P131) ・ハンナコッタ (P131) ・カプレーゼ (P131) ・えびとグレープフルーツのサラダ (P131) ・乾パスタ生地 (P133) ・アップルタルト (P133) ・もちをねた芋芋ミの生地 (P133) ・もちのどろ生地 (P133) ・もちのニョッキ (P133) ・ゲル化素材の特性を比較しよう (P134) ・味覚の変化を感じてみよう (P135) 	<ul style="list-style-type: none"> ・和服をひとりで着てみよう (P138) ・快適な衣服とは (P140) ・現代の衣服の処分方法を考える (P146) ・服から読み取ることができる情報 (P147) ・色々な手洗いの方法 (P150) ・激安Tシャツを賢くか (P153) ・ファストファッションについて考える (P153) ・手縫い(糸通し) (P154) ・手縫い(玉結び) (P154) ・手縫い(玉どめ) (P154) ・ボタンのつけ方 (P154) ・手縫い(並縫い) (P155) ・手縫い(半返し縫い) (P155) ・手縫い(まつり縫い) (P155) ・手縫い(たてまつり縫い) (P155) ・スナップのつけ方 (P155) ・ミンシンの使い方 (P156) ・船型コースター (P158) ・手ぬぐいからあづま袋 (P158) ・シャツからティッシュ箱をつくる袋 (P159) ・自分にあったサイズのリクルートスーツを購入しよう (P160) ・コージュを表現しよう (P161) ・シャツにアイロンをかけてみよう (P162) ・界面活性剤のはたらき確かめよう (P163) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージによる住み替えを考える (P169) ・防災・減災について考えよう (P174~175) ・緑化の効果を考える (P177) ・賃貸派か持ち家派 (P179) ・生活環境について考える (P180) ・不動産広告を見て考える (P180) ・レアアウト・コーディネートを考える (P181) ・人に優しいバリアフリーを考える (P182) ・書院造りを考える (P183)

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a 衣食住に関する実験・実習の題材 発行者 開隆堂708】(家庭基礎)

ア 食生活と健康	イ 衣生活と健康	ウ 住生活と住環境
<ul style="list-style-type: none"> ・食事の摂りかたで気になること (P88) ・不足しないよう注意している食品 (P92) ・たんぱく質の補給量を不足・超過から考える (P92) ・マヨネーズについて調べる バターとマヨネーズの油脂量について調べる (P93) ・ぬか漬けについて考える (P94) ・健康食品にパッケージから情報を調べる (P96) ・健康食品について考える (P97) ・せんべいの食べ比べ (P98) ・おいしいと感じたときの経験 (P99) ・肉を切ったあとのもな板について考える (P101) ・じゃがいもを切ってみよう (P102) ・だしをとってみよう (P102) ・昆布とかつおの比較 (P103) ・三色どんぶり (P104) ・鯛の韓国風どんぶり (P105) ・肉豆腐どんぶり (P105) ・野菜の肉巻き焼き (P106) ・れんこんのおかか炒め (P106) ・ほうれん草のごま和え (P106) ・ひじきの煮物 (P107) ・きんぴらごぼう (P107) ・さつまいもの甘煮 (P107) ・ナムル3種 (P107) ・和風ハンバーグ (P109) ・こまつなの煮びたし (P109) ・キャベツときゅうりの塩もみ (P109) ・豆腐とみょうろのすまし汁 (P109) ・餃子 (P110) ・餃子の皮の作り方 (P110) ・ミートソース (P111) ・エコクッキング (P111) ・杏仁豆腐 (P112) ・パイロア (P112) ・ブラウニー (P112) ・紅白なます (P113) ・栗きんとん (P113) ・ごまめ (P113) ・たたきごぼう (P113) ・何を考えて食品を選択しているか (P113) ・栄養価の計算をしてみよう (P115) ・コンビニ弁当について考える (P116) ・ライフステージ別の献立を考える (P116) ・食品群別摂取量について考える (P117) ・日本の伝統食を考える (P122) ・和食のよさと改善点 (P125) ・温州みかんについて考える (P126) ・植物工場について考える (P126) ・クリスマスケーキの大量廃棄を考える (P129) ・学習をまとめてみよう (P130) 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようなときに被服を身につけるか (P134) ・職場での制服について考える (P137) ・通学用の衣服の機能について考える (P140) ・界面活性剤の実験 (P145) ・室内干しにしておかないと宣伝されている洗剤がある理由 洗剤の選択 (P146) ・商業洗濯について考える (P147) ・衣服の購入時に重視すること (P148) ・品質表示について考える (P150) ・ソーイングケース (P152) ・ほこみ直し (P152) ・まつり縫い (P152) ・ボタンつけ (P152) ・三角形の小物ケース ・持続可能な社会をめざした衣生活での工夫 (P154) ・エネルギー消費を抑えた衣生活を考える (P155) ・学習をまとめてみよう (P157) 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間らしい住まいの機能 (P160) ・住面積水準について考える (P161) ・一人暮らしの間取り (P164) ・住まいの工夫を科学的に考える (P166) ・年齢によって家庭内事故死亡者の原因が異なるから、安全を考える (P167) ・地域によるハザードマップから考える (P168) ・耐震補強工事の費用を考える (P169) ・避難場所の選定について考える (P170) ・持続可能な住生活1について考える (P172~175) ・日本の住宅政策について考える (P152) ・学習をまとめてみよう (P177)

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a 衣食住に関する実験・実習の題材 発行者 大修館709】(家庭基礎)

ア 食生活と健康	イ 衣生活と健康	ウ 住生活と住環境
<ul style="list-style-type: none"> ・「こ食」チェック (P130) ・食生活振り返り (P132) ・食生活をイメージ (P136) ・栄養価計算 (P139) ・食事バランスガイド (P141) ・炭水化物について (P142) ・フォーガー (P144) ・フォーのゆで上がりを調べよう (P144) ・和風フォー (P144) ・α化米の食べ比べ (P145) ・α化米 (P145) ・蛋白質の量を調べよう (P146) ・カラフルサラダ (P146) ・ピネグレットソース (P148) ・マヨネーズソース (P148) ・ドレッシングの原材料を調べる (P148) ・フライドポテト (P149) ・フライドポテトについて考える (P149) ・貧血気味のときに何を食べるか考えよう (P150) ・ブルコギ (P152) ・肉を焼く時の工夫 (P152) ・煮魚 (P153) ・魚について考える (P153) ・カルシウムについて考える (P154) ・ムース風ヨーグルトゼリー (P156) ・カルシウムを多く含む食品を調べる (P156) ・木綿豆腐のみたらし団子 (P156) ・ニューナイ豆腐 (P156) ・卵液について考えてみよう (P157) ・カスタープリン (P157) ・ビタミンCについて考える (P158) ・野菜と豚肉のしぎ焼き風 (P160) ・ビタミンを効率よくとれる食べ方 (P160) ・フルーツポンチ (P161) ・フルーツポンチとビタミンCについて考える (P161) ・清涼飲料に含まれる糖分を角砂糖に換算してみよう (P162) ・おにぎり (P164) ・干草漬け (P164) ・日本の伝統的な加工食品を調べよう (P164) ・緑茶 (P164) ・紅茶ゼリー (P165) ・甘味料の違い (P165) ・買い物のポイント (P166) ・人工オレンジジュースを作ろう (P168) ・ピザパーティーの食材選び (P169) ・食品の安全について考える (P170) ・環境と食生活について考える (P172) ・食事計画 (P174) ・飯立づくり (P176) ・調理の安全を考える (P178) ・こんぶだし (P184) ・かつおだし (P184) ・煮干しだし (P184) ・とうもろこしご飯 (P187) ・炒り豆腐 (P187) ・もやしの甘酢和え (P187) ・吉野鶏のすまし汁 (P187) ・たけのこご飯 (P187) ・緑豆ご飯 (P187) ・にんじん入りバターライス (P189) ・チキンフリカッセ (P189) ・ひじきのサラダ (P189) ・さば缶のトマトパスタ (P191) ・切り干しだいこんのサラダ (P191) ・高野豆腐のコンソメスープ (P191) ・食生活のマネジメント (P192) ・バッククッキング ご飯を炊く (口絵 P17) ・バッククッキング ツナ缶じゃが煮 (口絵 P17) 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活の現状と課題 (P196) ・浴衣を着てみよう (P199) ・ドレスコードを考える (P200) ・繊維素材と性能を考える (P204) ・繊維の安全を考える (P206) ・繊維の管理を考える (P208) ・資源としての繊維を考える (P210) ・衣服の3Rを考える (P211) ・並縫い (P211) ・返し縫い (P211) ・まつり縫い (P211) ・千鳥がけ (P211) ・ボタンをつける (P211) ・衣類を選ぶ基準について考えよう (P212) ・採寸してみよう (P214) ・衣生活のマネジメント (P216) 	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの機能を考える (P220) ・住文化の継承・創造を考える (P222) ・和室と畳の関係 (P223) ・間取りについて考える (P224) ・理想の住空間を探ろう (P225) ・二近所トラブルを考える (P226) ・家庭内事故死について考える (P228) ・持続可能な住居を考える (P230) ・持続可能な住環境と地域社会について考える (P232) ・家を借りる計画を立ててみよう (P234) ・住生活のマネジメント (P236)
(68)	(16)	(11)

(95)

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a 衣食住に関する実験・実習の題材 発行者 第一710】(家庭基礎)

ア 食生活と健康	イ 衣生活と健康	ウ 住生活と住環境
<p>あなたの食生活を確認してみよう (P80)</p> <p>あなたが昨日食べたものを書き出してみよう (P81)</p> <p>自分のBMIを計算してみよう (P82)</p> <p>自分に近い考え方はあるだろうか (P83)</p> <p>1965年、1980年ごろは、どんな食事をしていただろうか (P85)</p> <p>食料自給率を高めるために、私たちはどのような取り組みができるだろうか (P86)</p> <p>外国の人を招待するパーティーを企画しよう (P89)</p> <p>てまり寿司 (P89)</p> <p>お好み焼き (P89)</p> <p>豆腐入り白玉だんご (P89)</p> <p>次の成分を、人体に含まれる割合が多い順に並べよう (P90)</p> <p>米(ごはん)をかんでみると甘く感じるのとはなぜだろうか (P91)</p> <p>じゃがいもの加工品を調べてみよう (P93)</p> <p>香辛料の量を調節するためにどのようにすればよいか (P99)</p> <p>どのような食品にどのようなビタミンが添加されているか調べてみよう (P100)</p> <p>各社の製品の栄養成分表示を比較してみよう (P102)</p> <p>いろいろな種類の香辛料を調べてみよう (P102)</p> <p>目的ごとに必要な食事を調べてみよう (P105)</p> <p>食事を提案しよう (P105)</p> <p>昨日食べた加工食品を書き出してみよう (P106)</p> <p>食品についてマークを探して意味を確認してみよう (P107)</p> <p>どんなものを食べたら栄養バランスがよくなるか、考えてみよう (P110)</p> <p>家族の食事の工夫を考えてみよう (P114)</p> <p>朝食の献立を立ててみよう (P117)</p> <p>実際には何gのじゃがいもを準備すればよだろうか (P118)</p> <p>塩分濃度を計算してみよう (P119)</p> <p>野菜のみそ汁 (P122)</p> <p>魚の鰯照り焼き (P123)</p> <p>かぶの甘酢漬け (P123)</p> <p>青菜のおひたし (P123)</p> <p>豆腐とわかめのすまし汁 (P123)</p> <p>とり肉の照り焼き (P123)</p> <p>スバゲチ・ナポリタン (P124)</p> <p>ポテトサラダ (P124)</p> <p>和風パスタ (P124)</p> <p>ちりめんじゃこレタスの炒飯 (P125)</p> <p>凉拌茄子 (P125)</p> <p>豚キムチ炒飯 (P125)</p> <p>タコライス丼 (P126)</p> <p>ヨーグルトサラダ (P126)</p> <p>そぼろ丼 (P126)</p> <p>野菜の豚肉巻き (P127)</p> <p>チンゲン菜の塩こんぶあえ (P127)</p> <p>かぼちゃの茶きんサラダ (P127)</p> <p>ロールスポンジケーキ (P128)</p> <p>米粉のブラウニー (P128)</p> <p>フルーツ大福 (P129)</p> <p>納豆麻 (P129)</p> <p>チョコモンカッタ (P129)</p> <p>チキンピラフ (P130)</p> <p>混合だし (見返し⑤)</p> <p>煮干しだし (見返し⑤)</p> <p>ブイヨン (見返し⑤)</p> <p>アジの三枚おろし (見返し⑥)</p> <p>いわしの手開き (見返し⑥)</p> <p>いかのさばき方 (見返し⑥)</p>	<p>自分が持っている被服の枚数を服種(アイテム)ごとに分けて数えてみよう (P132)</p> <p>衣生活の自立度をチェックしてみよう (P133)</p> <p>人が裸でちょうどいいと感じる温度はどれくらいだろうか、考えてみよう (P134)</p> <p>自分や家族の被服について、素材や原産国の表示を調べてみよう (P139)</p> <p>どうして、布が被服の材料として使われているのだろうか、考えてみよう (P142)</p> <p>布地の吸水性(バイレック法) (P142)</p> <p>被服の表示方法から洗濯方法を考えてみよう (P145)</p> <p>洗濯表示の例を見て、含まれている界面活性剤と助剤を調べてみよう (P147)</p> <p>界面活性剤の働きを確かめよう (P147)</p> <p>被服の手入れや保管のために使われる溶剤、薬剤について調べて使ってみよう (P148)</p> <p>ボタンつけ (P149)</p> <p>玉結び (P149)</p> <p>玉止め (P149)</p> <p>並縫い (P149)</p> <p>半返し縫い (P149)</p> <p>本返し縫い (P149)</p> <p>まつり縫い (P149)</p> <p>ズボンのすそ上げにチャレンジしてみよう (P149)</p> <p>浴衣の着姿にチャレンジしてみよう (P151)</p> <p>今後の被服はどうなるか考えてみよう (P153)</p> <p>ダイヤモンドランキングで優先順位を考えよう (P155)</p>	<p>私たちは、どんな家に帰りたいと思うだろうか (P158)</p> <p>日本の住文化について調べよう (P160)</p> <p>一人暮らしをするとしたら、どのような部屋に住みたいだろうか (P162)</p> <p>インターネットで物件情報を調べてみよう (P163)</p> <p>引っ越しをして暮らし始めることを想像して、①～④を考えてみよう (P163)</p> <p>自分の家のメンテナンスがどのようにおこなわれているか考えてみよう (P164)</p> <p>10年後、あなたはだれとどのような住まいに暮らしたいか (P167)</p> <p>暖かく住まう工夫、涼しく住まう工夫について考えてみよう (P169)</p> <p>昔の地名を調べてみよう (P170)</p> <p>「ナッジ」を調べて、私たちの住まい方に応用できないか考えてみよう (P172)</p> <p>住まいの健康度を評価してみよう (P176)</p>
(56)	(21)	(11) (88)

「別紙2-2」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 高齢者や乳幼児との触れ合いの扱い】(家庭基礎)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	家庭基礎 自立・共生・創造	有	P48～49 本文 P52 本文 P53 トライ P54～55 トライ P61 トライ P66 トライ P68 トライ P72 本文 P73 トライ P74 トライ P75 コラム P83 コラム	子どもと関わる 子どもとの触れ合いから学ぶ 子どもとの触れ合いから学ぶ 子どもとの触れ合いから学ぶ これからの保育環境 超高齢・大衆長寿社会の到来 高齢者の自立を支える 高齢者の自立を支える 高齢者の自立を支える 高齢者とともに地域をつくる 単元の最後 共に生きる	・子どもとの関わり方について説明している。 ・触れ合いから得られるもの、子どもと触れ合う機会について説明している。 ・絵本の読み聞かせ、折り紙での遊びについて説明している。 ・子どもとの触れ合い方について具体的に説明している。 ・地域の子どもと子育てについて説明している。 ・身近な高齢者のインタビューについて説明している。 ・地域の高齢者のボランティア活動について示している。 ・高齢者を支援する場合の心構えについて説明している。 ・介助の方法について説明している。 ・高齢者と共に地域社会をつくることを説明している。 ・介護支援専門員について説明している。(高齢者に関する仕事) ・地域交流の取り組みとして、「子ども食堂」について説明している。
教団	702	未来へつなぐ 家庭基礎 365	有	P30 本文 P38 本文 P39 本文 P45 コラム P51 本文 P53 トライ P57 トライ P58 本文	子どもの成長の特徴 実習 実習 これからの子育て 高齢期の健康 介助体験 安心できる暮らしを支える 安心できる暮らしを支える	・社会的なかわりを通じた発達について説明している。 ・乳児のお世話の仕方について説明している。 ・保育所などでの乳幼児の触れ合いについて説明している。 ・地域の取り組み例として、子ども食堂について説明している。 ・認知症の人への接し方について説明している。 ・介助の方法について説明している。 ・高齢者との触れ合いのかたについて説明している。 ・地域のボランティアを受け入れている福祉施設や高齢者との対話について説明している。
教団	703	家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来	有	P34 本文 P44 本文 P45 本文 P51 コラム P57 本文 P59 トライ P63 本文 P64 本文	人のかかわりと心の発達 実習 実習 これからの子育て 高齢期の健康 介助体験 安心できる暮らしを支える 安心できる暮らしを支える	・社会的なかわりを通じた発達について説明している。 ・乳児のお世話の仕方について説明している。 ・保育所などでの乳幼児の触れ合いについて説明している。 ・地域の取り組み例として、子ども食堂について説明している。 ・認知症の人への接し方について説明している。 ・介助の方法について説明している。 ・地域社会との関わりとして、福祉施設での高校生のボランティア活動を説明している。 ・地域のボランティアを受け入れている福祉施設や高齢者との対話について説明している。
教団	704	Survive!! 高等学校 家庭基礎	有	P139 コラム P141 コラム P145 コラム P148 コラム P158～159 コラム P163 コラム P164 コラム P165 コラム P171 コラム P173 コラム P174～175 写真 P175 写真 P175 コラム	子どもの発達 子どもの発達 子どもの遊び 子どもの生活、大人の役割 ふれ合い体験・保育実習 高齢期を理解する 高齢者の生活生活を支える仕組み 高齢者の生活生活を支える仕組み 地域で支える高齢社会 地域で支える高齢社会 高齢者の介助 高齢者の介助 高齢者の活動	・発達段階に応じたかわり方をデジタルコンテンツを用いて説明している。 ・子どもと関わる機会を探し、かわることを学習の振り返りで示している。 ・絵本の役割を用いて説明している。 ・子どもとのふれあいを通じて、子どもの生活リズムを説明している。 ・保育実習を用いて説明している。 ・高齢者と地域の交流について説明している。 ・高齢者との意識の違い、会話のコツを説明している。 ・地域の高齢者とのコミュニケーションを用いて説明している。 ・長野県の高校生の取り組みを用いて説明している。 ・地域の高齢者とのイベント立案で示している。 ・車いすの介助を写真、関連動画をj用いて説明している。 ・着替えの介助を写真を用いて説明している。 ・長野県の製造販売会社の例を用いて説明している。
実教	705	家庭基礎 気づく力築く未来	有	P22 コラム P55 コラム P58～59 コラム P59 コラム P68 本文 P75 コラム P75 コラム P76 コラム P77 コラム P77 コラム P83 コラム P88 コラム	ライフキャリア 子どもの生活、大人の役割 子どもをはぐくむ 子どもをはぐくむ 高齢社会に生きる 高齢者を知る 高齢者を知る 高齢者の自立を支える 高齢者の自立を支える 高齢者の自立を支える 共生社会を生きる 共生社会を生きる	・愛知県長久手市の多世代交流について説明している。 ・絵本の読み聞かせを用いて説明している。 ・保育実習について説明している。 ・手袋シアターを用いて説明している。 ・高齢者とのかわりについて説明している。 ・ロコモ体操を用いて説明している。 ・大田区の取り組みについて説明している。 ・ワークで示している。 ・車いすでの移動について説明している。 ・認知症の方の特徴をふまえ、接し方を説明している。 ・地域での子どもの見守りに関して説明している。 ・高齢者の特徴、サポートの仕方について説明している。
実教	706	Agenda 家庭基礎	有	P19 コラム P37 コラム P52～53 本文・写真 P53 コラム P65 コラム P71 コラム P195 コラム	青年期の自立 子どもと出会う 子どもと遊び 子どもと遊び 子どもと遊び 高齢者を知る 介助体験 課題解決特集	・静岡県榛原郡のNPO法人を例に、高齢者へのボランティア活動について説明している。 ・子どもとのふれあう機会について説明している。 ・子どもの行動を写真を用いて説明している。 ・絵本の読み聞かせを用いて説明している。 ・インタビューや地域の高齢者関連施設の話を聞く体験で示している。 ・車いすの操作方法、衣服の着脱、食事の介助について説明している。 ・世代間交流を例に、高齢者との交流について説明している。

「別紙2-2」 【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 高齢者や乳幼児との触れ合いの扱い】 (家庭基礎)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
実教	707	図説 家庭基礎	有	P13 コラム P47 コラム P65 コラム P56 コラム P57 コラム P57 コラム P61 本文 P65 コラム P66～67 本文 P79 本文	生活を支える労働 子ども遊び 子どもを守る法律・制度 実践コーナー 幼児とのふれあい 実践コーナー 幼児とのふれあい 実践コーナー 幼児とのふれあい 高齢社会に生きる 高齢者のサポートと介護の心 介助実習 実践コーナー 高齢者から学ぶ	・愛知県長久手市の多世代交流について説明している。 ・折り紙を用いて説明している。 ・子ども食堂を例に、子どものかかわりについて説明している。 ・幼児とのふれあいについて説明している。 ・パネルシアターを用いて説明している。 ・スキップ遊びを用いて説明している。 ・高齢者のかかわりについて説明している。 ・認知症の人との付き合い方について説明している。 ・立ち上がり、歩行・階段の上り下り、車いすの介助について説明している。 ・高齢者インタビューについて示している。
開隆堂	708	家庭基礎 明日の生活を築く	有	P56 本文 P57 本文 P73 本文 P75 本文 P75 本文 P79 コラム	子どもとかわる 子どもとかわる 認知症とともに生きる時代 高齢者の生活と福祉 高齢者の生活と福祉 高齢者の生活と福祉	・子どもとどうやってかわるのかについて説明している。 ・子どもとのふれあいについて示している。 ・認知症の人との付き合い方について説明している。 ・食事、衣服の着脱、車いすの移乗、車いすでの移動について説明している。 ・高齢者の交流の仕方について説明している。 ・ソーシャルワーカーについて説明している。(高齢者に関わる仕事)
大修館	709	クリエイティブ・リビング Creative Living 『家庭基礎』で生活をつくらう	有	P50 本文 P50 コラム P63 コラム P76～77 本文 P77 コラム P79 コラム P79 コラム	子どもとふれあおう 子どもとふれあおう 社会で子育て 介助体験 介助体験 これからの高齢社会 これからの高齢社会	・子どもとのふれあい方について説明している。 ・手遊びと絵本の読み聞かせについて示している。 ・子ども食堂の企画について示している。 ・高齢者の介助の心がまえ、食事、着脱、車いす介助について説明している。 ・介助を支える介護ロボットについて写真を用いて紹介している。 ・高齢者との交流について説明している。 ・高齢者と子どもの読み聞かせを用いた交流について説明している。
第一	710	高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる	有	P38～39 本文 P39 コラム P40 コラム P43 コラム P44 写真 P44 写真 P44 本文 P44 本文 P45 本文 P45 コラム P58 写真 P59 写真 P76 図 P77 図 P77 図 P85 コラム	親と子のかかわり 親と子のかかわり 乳幼児の生活と安全 子どもの成長と遊び 子どもとのかかわり方を学ぶ 子どもとのかかわり方を学ぶ 子どもとのかかわり方を学ぶ 子どもとのかかわり方を学ぶ 子どもとのかかわり方を学ぶ 高齢期の生活 高齢期の生活 体験 さまざまな人への支援を考えよう 体験 さまざまな人への支援を考えよう 体験 さまざまな人への支援を考えよう 食生活の変化	・親と子のかかわりについて説明している。 ・パパの育児体験談を示している。 ・ミルクの飲ませ方、紙おむつの替え方を説明している。 ・子どもが楽しむ絵本の世界について示している。 ・ふれ合い学習体験について写真で示している。 ・親子の観察について写真で示している。 ・子どもを観察してみようについて説明している。 ・子どもの遊びを企画してみようについて説明している。 ・ふれ合い体験をおこなう上でのポイントについて説明している。 ・人間の土台の部分育てるについて示している。 ・地域でパトロールしている高齢者を示している。 ・高齢者へのインタビューについて示している。 ・移動の支援について説明している。 ・食事の支援について説明している。 ・着脱の支援について説明している。 ・子どもや高齢者をはじめとする地域の人の居場所として説明している。

(10)

(6)

(7)

(16)

「別紙2-3」 【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 d 発展的な内容の概要】 (家庭基礎)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	家庭基礎 自立・共生・創造	無			
教図	702	未来へつなぐ 家庭基礎 365	無			
教図	703	家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来	無			
教図	704	Survive!! 高等学校 家庭基礎	有	P113 コラム	巻きずしアート作品	・現代アート作家の巻きずし作品を写真で紹介し、「おいしく食べる」ことについて説明している。
実教	705	家庭基礎 気づく力築く未来	無			
実教	706	Agenda 家庭基礎	無			
実教出版	707	図説 家庭基礎	無			
開隆堂	708	家庭基礎 明日の生活を築く	無			
大修館	709	クリエイティブ・リビング Creative Living 『家庭基礎』で生活をつくらう	無			
第一	710	高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる	無			

「別紙2-4」 【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 防災や自然災害の扱い】 (家庭基礎)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	家庭基礎 自立・共生・創造	有	P78～79 本文・図 P82 TRY P84～85 TRY P129 注釈 P170～171 本文 P182～183 TRY	防災 防災 防災 防災 防災 防災	・自然災害など、回避することが難しいリスクがあることを説明している。 ・自然災害時に、避難所での国籍・民族の違いにより課題を考える。 ・地域の防災意識を高めることと国籍とを説明している。 ・東日本大震災後に定められた放射性セシウムの基準値を示している。 ・災害の種類、自然災害対策と防災、住居の耐震と減災、人為災害を減らす工夫を説明している。 ・被災地への支援に何がができるか説明している。
教図	702	未来へつなぐ 家庭基礎 365	有	P61 本文・写真 P65 本文 P77 資料 P149 本文 P150～153 本文・写真 P150 TRY P151 資料 P151 資料 P151 コラム P212 本文	防災 自然災害 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災	・リスクを考えること、困ったときの自助・互助・共助について説明している。 ・災害現場でのボランティア活動について示している。 ・災害食としてα化米を説明している。 ・住まいの役割を自然災害から身を守るものとして説明している。 ・自然災害、家庭内事故、火災、犯罪に備えることを説明している。 ・ハザードマップについて説明している。 ・地震の防災対策と防災情報(タイミング)について説明している。 ・耐震・免振・制振構造について説明している。 ・災害の被害を伝える石碑について説明している。 ・ホームプロジェクト実践例として、地震がくる前に、我が家の備えについて示している。
教図	703	家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来	有	P67 本文・写真 P71 本文 P85 コラム P163 本文 P164～167 本文・写真 P164 コラム P165 TRY P165 資料 P165 資料 P165 コラム P228 本文	防災 自然災害 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災	・リスクを考えること、困ったときの自助・互助・共助について説明している。 ・災害現場でのボランティア活動について示している。 ・災害食としてα化米を説明している。 ・住まいの役割、を自然災害から身を守るものとして説明している。 ・自然災害、家庭内事故、火災、犯罪に備えることを説明している。 ・防災アプリについて説明している。 ・ハザードマップについて説明している。 ・地震の防災対策と防災情報(タイミング)について説明している。 ・耐震・免振・制振構造について説明している。 ・災害の被害を伝える石碑について説明している。 ・ホームプロジェクト実践例として、地震がくる前に、我が家の備えについて示している。
教図	704	Survive!! 高等学校 家庭基礎	有	P26 写真 P49 コラム P78 コラム P104 コラム P120 コラム P122 本文 P122 図 P122 写真 P122 写真 P123 本文 P123 写真 P123 図 P123 コラム P131 コラム P132 コラム P183 写真 P188 図	自然災害 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 自然災害 防災 防災 防災 防災 防災 自然災害 自然災害	・海岸に漂着したプラスチックごみや2019年千曲川決壊の写真を用いて、地球温暖化による気候変動、災害について説明している。 ・災害時の衣服の備えについて説明している。 ・災害に備えた、家族の非常食について説明している。 ・断水、停電時の食事について、備蓄品を用いた調理を説明している。 ・災害が起きた時の行動について質問している。 ・日本が地震大国であること、耐震、免振、制震対策や生活面での地震対策の必要性を説明している。 ・出火原因の資料を用いて、住宅用火災報知器設置の義務化について説明している。 ・トラッキング現象について写真を用いて説明している。 ・耐震、免振、制震構造について写真を用いて説明している。 ・災害などの緊急事態に対しては、地域全体で協力し合って取り組むことが効果的であることを説明している。 ・阪神淡路大震災と2019年千葉県台風被害の写真を用いて自然災害による被害を説明している。 ・家具の転倒防止、消火器の準備、非常持ち出し袋の準備、避難訓練などを例に、災害への日常的な備えを説明している。 ・家の中の地震対策や災害時の避難場所の確認の重要性を示している。 ・災害時の避難の際に必要な体力や、避難生活が長引いたとき、避難所でできる運動の例を説明している。ライフラインのストップを想定し、地域ぐるみでエネルギー需要を管理する重要性を説明している。 ・災害時、災害後の生活の悩み相談を通して、災害を生き抜くための姿勢を示している。 ・地域のボランティア活動として、災害ボランティアについて説明している。 ・家族外で起きるライフイベントとして、自然災害を示している。

「別紙2-4」 【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 防災や自然災害の扱い】 (家庭基礎)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
実教	705	家庭基礎 気づく力築く未来	有	P51 コラム P84 本文 P188 本文 P188 図 P188 コラム P189 本文 P189 図 P189 図 P189 図 P189 写真 P189 図 P190 本文 P191 コラム P198 コラム P198 コラム P198 コラム P199 コラム P199 コラム P199 コラム P199 コラム P199 コラム P200 写真 P215 本文 P215 コラム P231 コラム P236~237 本文	防災 防災 自然災害 自然災害 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 自然災害 自然災害 自然災害 防災 防災	<ul style="list-style-type: none"> 液体ミルクについて、災害時の活用への期待が説明されている。 地域の防災・減災について、社会の一員として関心を持ち、活動に参画していくことが必要であると説明している。 自然災害発生時のリスク対策やハザードマップの利用、防災における自助、公助、共助の重要性を説明している。 地震発生時に想定される災害をハザードマップを用いて説明している。 災害の備えを住まい、避難経路、発災直後、連絡手段の観点で説明している。 火災の原因、避難経路の確認と住宅用火災報知機設置の義務化について説明している。 家具の転倒防止策を図を用いて説明している。 防災における自助、共助、公助の種類について説明している。 火災における経過別死者発生状況の図を用いて初期消火の必要性を説明している。 写真を用いて避難経路の確認を説明している。 共同住宅での漏煙の図を用いて、避難経路を説明している。 日常災害の発生件数の多さと種類、対策の重要性を説明している。 自宅以外で被災した場合についての行動を問題提起で示している。 防災の日、防災週間に全国で防災訓練や行事が行われていることや家庭内の防災対策について説明している。 非常用持ち出し袋の準備について、リュックサックの利用、男女別の重量、物品を説明している。 災害に備えた食品の備蓄方法について説明している。 災害時の食事としてポリ袋を利用した炊飯を説明している。 災害時の簡易履物として新聞紙スリッパの作り方を説明している。 災害時のトイレの使い方について新聞紙やビニールを用いて説明している。 災害時の連絡方法について示している。 避難所で気をつけることを示している。 地球温暖化と気候変動による自然災害を写真を用いて示している。 地球温暖化の原因と現状と異常気象による洪水被害や熱中症について説明している。 地球温暖化のリスクを国連の政府間パネル(IPCC)を用いて示している。 災害とスマートフォンを取り上げ、停電による脆弱性を説明している。 学校家庭クラブ活動の実践例として、防災について示している。
実教	706	Agenda 家庭基礎	有	P17 コラム・写真 P46 トピックス P49 コラム・写真・本文 P79 本文 P79 本文 P101 コラム P123 本文・写真 P129 コラム P156 コラム P156 コラム P156 コラム P156 本文 P157 写真 P157 コラム P181 本文 P192~193 コラム P195 コラム・写真 P202~203 本文 巻末 P5 巻末 P6~7	自然災害 防災 自然災害 防災 防災 防災 防災 自然災害 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災	<ul style="list-style-type: none"> 高校生による避難所の「SOS」メッセージについて説明している。 液体ミルクについて、災害時の備蓄用として期待されていることが説明されている。 災害時の子どもの心のケアについて説明している。 日常的につながりのある地域は、防災・減災のまちづくりとして期待されていることが説明されている。 ボランティア活動は、防災などの領域で、多世代の人が活動していることを説明している。 災害時の備えについて説明し、備蓄食品について考える。 災害時の備えとして準備している備蓄食材を使用して作る料理を紹介している。 災害時、寒さをしのぐ方法について考える。 福島県いわき市の津波の被害を例に安全な場所を使うことで持続可能な社会づくりに貢献できることを説明している。 2019年の千曲川の氾濫を例にハザードマップ通りに被害を受けるとは限らないことを説明している。 事前災害伝承碑を地図記号を用いて説明している。 安全・安心な住まい・住環境の確保のために避難訓練などの住む人の努力が欠かせないことや防災訓練、事前復興計画の検討が備えのた ぞうしがやプレイパークの写真を用いて豊島区の災害に備える取り組みを示している。 2018年大阪北部地震を例に、規定に従うだけでなく柔軟な対応が必要であると説明している。 防災教育の強化など、環境問題や自然災害に対応できる国づくりが求められていると説明している。 多様な人々を想定した避難所の運営を写真、図を用いて説明している。 地域の世代間交流の取り組みとして、防災訓練を示している。 ホームプロジェクトの実践事例として、非常食について示している。 地震による被害の写真を用いて、災害への備え、地域の繋がりに関して説明している。 ハザードマップや災害種別図記号、避難場所の案内図の写真を用いて、自分の住む地域の災害対策の確認ができるよう説明している。
実教	707	図説 家庭基礎	有	P44 資料 P96~97 コラム P133 本文 P172~173 本文 P172 図 P172 図 P172 図 P174 本文 P174 本文 P174 本文 P175 表 P175 本文 P175 本文	防災 防災 防災 自然災害 自然災害 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災	<ul style="list-style-type: none"> 液体ミルクの災害時の活用について示している。 災害時の食の工夫として、ポリ袋調理を説明している。 備蓄食材を使用したメニューを示している。 自然災害と住まいと防災の方法について説明している。 自然災害の備えについて、対策と目標、実施することを示している。 防災における自助、共助、公助の種類について説明している。 火災を防ぐポイントを示している。 ハザードマップを確認して、危険箇所の確認を避難経路を考える 災害時の連絡方法を示している。 家具の転倒防止対策について示している。 非常持ち出し品と備品のチェック 避難前の家族の役割について考える。 自宅以外で災害にあった場合について考える。

「別紙2-4」 【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 防災や自然災害の扱い】 (家庭基礎)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
開隆堂	708	家庭基礎 明日の生活を築く	有	P31 本文・表 P160 本文 P167 本文 P168～169 本文 P168 本文 P168 表 P169 本文 P170～171 本文 P175 コラム P216 本文	防災 防災 防災 防災 自然災害 防災 防災 防災 防災	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難訓練について示している。 ・住まいの課題として、災害で被害を受けた地域の住まいについて示している。 ・「防火地域」「準防火地域」について示している。 ・自然災害の多い理由を理解し、身を守るために必要なことを説明している。 ・ハザードマップについて説明している。 ・災害による死者・行方不明者について示している。 ・耐震改修工事について説明している。 ・災害対策基本法について説明している。 ・被災地の復興として「南三陸モデル」を示している。 ・ホームプロジェクトの実践例として、災害時の避難所になる学校の備蓄品はどうなっているか説明している。
大修館	709	クリエイティブ・リビング Creative Living 『家庭基礎』で生活をつくらう	有	P13 本文 P83 本文 P85 表 P145 本文 P172 本文 P173 資料 P190～191 本文・写真 P206 本文 P207 図 P228 本文 P228 本文 P229 本文 P229 本文 口絵 P15～16 口絵 P17	防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の中で、防災に関する職業を紹介している。 ・共生社会の例として、被災地の若者支援について説明している。 ・リスクをもたらす生活問題の例として、避難所や防災拠点の機能整備が示されている。 ・α化米が災害食として利用できることを説明している。 ・非常時に配慮した食行動について説明している。 ・食品ロスしない備蓄方法として、ローリングストック法を説明している。 ・災害時の食事について、保存食材を使用したメニューを示している。 ・災害時の備えとして、非常持ち出し袋の被服の準備について説明している。 ・災害時の被服の備えの一覧を示している。 ・住まいの防災・減災の例として、耐震、免震、制震の建物について説明している。 ・ハザードマップについて説明している。 ・耐震、免振、制振構造について説明している。 ・地震に対する住まいの防災・減災の例をイラストを用いて説明している。 ・災害の備えを、表やイラストを使って説明している。 ・避難のタイミングやポリ袋調理について説明している。
第一	710	高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる	有	巻頭 P4～5 P40 インフォメーション P75 図 P93 コラム P130 本文 P130 インフォメーション P165 コラム P170～171 本文 P170 写真 P170 図 P170 図 綴込 P1～4	防災 防災 防災 防災 防災 防災 自然災害 自然災害 自然災害 自然災害 防災 防災	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策についてホームプロジェクトの一例を示している。 ・防災用品として液体ミルクについて説明している。 ・避難場所の案内板の表示例について示している。 ・災害時の非常食としてα化米を示している。 ・災害食づくりについてホームプロジェクトの一例を示している。 ・ローリングストック法について説明している。 ・熊本地震における被害状況について示している。 ・自然災害と住まいについて説明している。 ・自然災害の事例を示している。 ・ハザードマップの例を示している。 ・災害被害の軽減のためチェックリストが示されている。 ・減災・防災ハンドブックについて文章、写真で示している。

「別紙2-5」【持続可能な社会づくりの扱い】(家庭基礎)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	家庭基礎 自立・共生・創造	有	見返し P1~2 本文 P82 本文 P128~129 本文 P130~131 本文 P158~159 本文 P160~161 本文 P176~178 本文 P179 本文 P181 本文 P199 コラム P199 コラム P200~205 本文 P213 コラム	家庭科の学び方 共に生き、共に支える 食生活をつくる 食生活をつくる 衣生活をつくる 衣生活をつくる 住生活をつくる 住生活をつくる 住生活をつくる 住生活をつくる 経済生活を営む 経済生活を営む 持続可能な生活を営む これからの生活を創造する	・SDGs17の目標と家庭科各分野との関係を示している。家庭科を学んで持続可能な社会をつくる暮らしの担い手になることを説明している。 ・地球の気候や風土などの自然環境と調和し、健康で快適に生活できるようにする環境共生について示している。 ・食料自給率、フード・マイルーajと地産地消、食品のトレーサビリティについて説明している。 ・食品ロス、フードバンク、フェアトレードについて説明し、生産から廃棄に至る一連のサイクルについて理解を深めることを示している。 ・被服の生産と実態を踏まえ、資源や環境への配慮について説明している。 ・環境負荷の軽減、エシカルファッション、ユニバーサルデザインの被服について説明している。 ・日本に住宅政策の変遷や、住居の造り方の例としてスケルトン・インフィル方式を説明し、環境とエネルギーについて示している。 ・暮らしやすい住環境とまちづくりへの参画について示している。 ・まちづくりの事例として、陸前高田の復興のまちづくりについて説明している。 ・高校生によるスーパーでの、持続可能な運営の取り組みについて示している。 ・持続可能性を重視したスマートフォンについて説明している。 ・大量消費の限界、これまでの世界と日本の取り組み、一人一人の力で社会を動かす(毎日の生活を持続可能にする、資源利用の削減、エシカル消費の実践、社会的活動の実践と支援)を説明している。 ・主体者として持続可能な社会を実現していくことを示している。
教図	702	未来へつなぐ 家庭基礎 365	有	口絵 P7~8 各章の扉 P63 本文 P145 本文 P162~163 本文 P191 本文 P193~202 本文	世界を変える17の目標 SDGsと家庭科 共生社会と福祉 衣生活と健康 住生活と住環境 消費行動と意思決定 持続可能なライフスタイルと環境	・SDGsは何か説明している。 ・これから学ぶ内容とSDGsのつながりを示している。 ・公的年金制度について、持続可能な年金制度への見直しが議論されていることが説明されている。 ・大量生産・大量消費・大量廃棄のサイクルの見直しについて示している。 ・人口減少と住まい、持続可能な住み方として古民家のリフォームや再生住宅について説明している。 ・消費者一人ひとりの積極的な消費行動が、持続可能な社会へとつながっていることを説明している。 ・暮らしと環境問題、社会の取り組み、持続可能な消費、行動し、発信しよう、プラスチックごみ、エシカル消費を説明している。コラムでつばさ総合高校の環境活動や地域の活動などについて示している。
教図	703	家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来	有	口絵 P3~4 各章の扉 P69 本文 P145 本文 P171 トライ P176~177 本文 P207 本文 P209~218 本文	世界を変える17の目標 かわりのあるSDGs 共生社会 衣生活 住生活 住生活 消費生活 環境	・SDGsは何か説明している。 ・これから学ぶ内容とSDGsのつながりを示している。 ・公的年金制度について、持続可能な年金制度への見直しが議論されていることが説明されている。 ・大量生産・大量消費・大量廃棄のサイクルの見直しについて示している。 ・住環境を左右する要素として、長く暮らし続けていけるかという持続性も求められていることが説明されている。 ・人口減少と住まい、持続可能な住み方として古民家のリフォームや再生住宅について説明している。 ・消費者一人ひとりの積極的な消費行動が、持続可能な社会をつくる力になると説明している。 ・暮らしをふり返る、さまざまな環境問題、社会の取り組み、持続可能な消費、行動し、発信する、プラスチックごみ、エシカル消費を説明している。つばさ総合高校の環境活動や地域の活動などについて示している。
教図	704	Survive!! 高等学校 家庭基礎	有	P15 コラム P25 コラム P27 本文 P27 コラム P28~29 コラム P39 コラム P43 コラム P52 コラム P53 本文 P56~57 本文 P108 本文 P108 コラム P108 コラム P129 本文 P129 コラム P131 コラム P145 コラム P149 コラム P157 コラム P173 コラム P180 コラム P199 コラム 口絵 P12	消費生活・環境 消費生活・環境 消費生活・環境 消費生活・環境 消費生活・環境 衣生活 衣生活 衣生活 衣生活 衣生活 衣生活 衣生活 食生活 食生活 食生活 住生活 住生活 住生活 子どもの保育 子どもの保育 子どもの保育 高齢期の生活 共生社会 青年期・家族 持続可能な社会のために	・エンカル消費の世界や日本での広がりを説明している。 ・環境や社会、企業統治に配慮した投資について説明している。 ・持続可能な社会を作るために、消費者市民である私たちが問題解決に向けて積極的に行動する重要性を説明している。 ・温室効果ガスの削減のためには、個々の努力が必要であることを説明している。 ・循環型社会の実現のための3R、4R、5Rについて図を用いて説明している。 ・衣服のタグや表示について説明している。 ・ペットボトルから再生された布や制服、生産工程で生じた端切れや古着の再生を写真を用いて説明している。 ・2013年のバングラデシュのビル倒壊事故の原因を示し、労働者の安全・健康を保つ衣生活づくりについて説明している。 ・大量消費、大量廃棄の傾向と日本における繊維の輸入状況の見直しや着装の工夫、エシカルファッションが持続可能性の観点から注目されていることを説明している。 ・アップサイクルの取り組みについて示している。 ・フードマイルーajやカーボンフットプリントの考えから、地産地消を心掛けることが問題解決につながることを説明している。 ・世界の飢餓について示している。 ・フードバンクの取り組みを説明している。 ・住民が主体となり、行政や専門家とともに地域づくりをすることを説明している。 ・金沢市の古民家再生の例を示し、伝統的な建築物の保存と地域内外の関わりを説明している。 ・地域ぐるみでエネルギー需要を管理し、省エネルギーや省CO ₂ 、災害時のライフラインの確保に取り組みスマートコミュニティやスマートシティを説明している。 ・フックスタートを通して教育、不平等をなくすための取り組みを説明している。 ・障がいを持った子どもとその親や家族を受け入れ、支援できる地域や社会の在り方について説明している。 ・世界中の人々が健康で安全な出産や育児ができるような環境設備の実現と同時に、子どもを持たない多様な生き方を受容できる社会をつくる重要性を説明している。 ・介護人材のための国の取り組みにより、全ての年齢の人の健康と安心して住み続けられるまちづくりについて説明している。 ・地域福祉と地域社会の持続可能性を説明している。 ・デートDVのチェックリストを用いて、ジェンダー平等実現のための課題を説明している。 ・SDGs17の目標を示している。

「別紙2-5」【持続可能な社会づくりの扱い】（家庭基礎）

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
実教	705	家庭基礎 気づき力築く未来	有	巻頭 P4～5・P1 本文 巻頭 P5・P1 本文 P65 本文 P141 本文 P142 本文 P142 コラム P162～163 本文 P192～193 本文 P194 本文 P194 資料 P212 本文 P214～215 本文 P216 本文 P216 コラム P218～219 本文 P218 コラム	SDGsと家庭科 SDGsと家庭科 子どもとかかわる 食生活をつくる 食生活をつくる 食生活をつくる 衣生活をつくる 住生活をつくる 住生活をつくる 住生活をつくる 消費行動を考える 消費行動を考える 消費行動を考える 消費行動を考える 消費行動を考える 消費行動を考える	・SDGs17の目標と家庭科各分野との関係を示している。 ・高校生によるチョコレートプロジェクト、タピオカドリンクのストロー持参などの活動を紹介し、行動変容を示している。 ・子どもの権利を守ることは、SDGsを達成することにつながる」と説明している。 ・食品ロスと環境保全への取り組みを食品の購入から説明している。 ・地産地消、食品ロスを通じて、環境保全のための取り組みを説明している。 ・世界の飢餓状態と日本の食品ロスの状況を対比し、資源の浪費回避の重要性を説明している。 ・衣生活と資源・エネルギー、労働問題について、エンカル消費、ケミカルリサイクル、リサイクルマーク、ファストファッションやフェアトレードを説明している。 ・日本の住生活の現状と住宅政策の変遷と課題を通し、時代に合った適切な住まいの条件や実現に向け、地域、国、自治体ですべきことを考え、行動することの説明している。 ・住環境には物理的環境、人的環境があることや環境問題の深刻化、循環共生に向けた住まい、まちづくりの必要性が説明されている。 ・目標11と目標12のターゲットについて説明している。 ・消費者基本法に触れ、消費者の持つ力を自覚し、暮らしを安定させ、持続可能な社会づくりに参加する必要性を説明している。 ・海洋プラスチック問題、地球温暖化問題を例に持続可能な社会を構築する責任を説明している。 ・大量消費の現状に触れ、循環型社会形成推進基本法の3Rと5Rについて説明している。 ・Think Globally, Act Locally(地球規模で考え、地域で行動しよう)の考えを説明している。 ・音楽イベントや環境に配慮したサービスの例を挙げ、環境ラベルの利用やエンカル消費の必要性を説明している。 ・SDGsと企業の社会的責任について説明している。
実教	706	Agenda 家庭基礎	有	巻頭 P1～2 本文・図 P9 本文 P18 本文 P28～31 本文 P34 コラム P56～57 本文 P62 コラム P65 本文 P80 本文 P81 コラム P82 本文 P124 コラム P125 コラム P145 本文 P146 コラム P159 本文 P161 本文 P162 コラム P180～181 本文 P182～183 本文 P188 コラム P198～199 本文 P204～205 本文	持続可能な未来に向かって 「よりよい明日」をつくるために 自分・家族 自分・家族 自分・家族 子ども 子ども 高齢者 社会福祉 社会福祉 社会福祉 食生活 食生活 衣生活 衣生活 住生活 住生活 住生活 消費・環境 消費・環境 消費・環境 課題解決特集 ホームプロジェクト	・SDGs17の目標と持続可能な社会への歩みとAIを使った農業、食品ロス解消アプリについて説明している。 ・持続可能な明日をつくるための行動について説明している。 ・持続可能な社会の実現のために、社会の政策やしきみ、動向に目を向け、生活の背景にある諸課題の解決策を考える力が求められていることを説明している。 ・持続可能な生活と仕事の関係について、労働問題を含めて説明している。 ・世界の男女平等ランキングの資料、千葉市のパートナーシップの取り組みを示している。 ・待機児童問題、母親の子育ての負担をワーク・ライフバランスの課題として扱い、男女が共に子育てを両立できる支援が必要と説明している。 ・人的資本投資に対する収益率のグラフ、レゾジョ・エミリアの理念を用いて、子どもの学びを保証する重要性を説明している。 ・住民、地域、行政、企業の協働による、多世代が共に生きる公正で持続可能な社会づくりの重要性を説明している。 ・障害者差別解消法と合理的配慮について説明している。 ・10か国の人々が暮らす団地、コミュニティソーシャルワーカーの実践を紹介し、共生社会の実現に向けた活動を示している。 ・ハローワークにおける障がい者の職業紹介状況のグラフ、神奈川県の中ヨーク工場を紹介し、誰もが働きやすい社会の実現について説明している。 ・有機農業の取り組み面積割合のグラフ、コウノトリと共生する農法を紹介し、有機農業による環境負荷の低減と経済活動の両立が難しいことを説明している。 ・環境問題を扱った映画の制作者を紹介し、環境問題改善の取り組みを説明している。 ・衣生活にかかわるフェアトレードやエンカルファッションを、環境負荷の少ない素材の選択による持続可能な衣生活を説明している。 ・綿花の産業発展と次世代への技術伝承を説明している。 ・ヒートアイランド抑制する壁面、屋上緑化などの工夫や公共交通機関の利用により環境負荷を減らし、暮らしやすい多様性に富む持続可能な社会づくりについて説明している。 ・住民主体の住まい・まちづくりの必要性について説明している。 ・移動にかかわるエネルギー消費の資料、富山市のコンパクトシティ計画を例に住み続けられるまちづくりを説明している。 ・SDGs採択の経緯と環境基本法に基づく環境問題や自然災害に対応する能力がある国づくりの必要性が説明されている。 ・ISO14001、LCAを取り入れる企業の増加や地方創成としてのSDGsを活用した自治体の持続可能な地域づくりの取り組みを説明している。 ・ごみ総排出量の推移と徳島県上勝町の取り組みから住み続けられまちづくりについて説明している。 ・持続可能な開発会議(2012年)のウルグアイ大統領のスピーチを用いて、持続可能な社会を考える上での課題を示している。 ・SDGsを達成するための行動として、ホームプロジェクトの実践例を示している。
実教	707	図説 家庭基礎	有	P152～153 本文 P176～177 本文 P204～205 本文 P205 本文 P206 本文 P207 本文 P208～209 本文 P210 本文	衣生活をつくる 住生活をつくる 消費行動を考える 消費行動を考える 消費行動を考える 消費行動を考える 消費行動を考える 消費行動を考える	・環境に配慮した衣生活、再資源化、ファストファッションやフェアトレードを題材に持続可能な衣生活を説明している。 ・環境に配慮した住まいや住環境にするための方法の実例を挙げ、持続可能な住まいについて説明している。 ・海洋プラスチック問題について説明している。 ・循環型社会形成基本法について説明している。 ・持続可能な社会を目指す取り組みについて説明している。 ・地産地消、フェアトレードについて説明している。 ・商品のマークとエンカル消費について考える。 ・実現するための17のゴールで示している。

記述の内容	
性差に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・図 時代別に見た人の人生 (P23) ・図 50歳時未婚率の推移 (P23) ・図 男女別平均初婚年齢と夫婦の年齢差の推移 (P24) ・コラム ドメスティック・バイオレンスとデートDV (P24) ・コラム LGBTとSOGI (P25) ・図 旧民法と現行民法との比較 (P29) ・コラム 夫婦別姓をめぐる動きと判例 戸籍の有無や婚姻制度は国により異なるが、法律で夫婦同姓を義務付けているのは日本のみである。(P31) ・図 夫婦が仕事と家事に費やす時間の比較 (P32) ・1960年代以降「男は仕事、女は家事・育児」という性別役割分業意識が一般化し強まっていった。(P33) ・生物学的な性別に対して、社会的・文化的に形成される性別をジェンダーという見方が広まった。(P33) ・女子差別撤廃条約では、「すべての人間の奪い得ない権利としての労働の権利」の確保や、雇用の場において、婚姻または母性を理由とする女子に対する差別をなくすことなどが定められている。この条約を受けて日本では男女雇用機会均等法が1986年から施行された。1997年の改正で差別禁止の範囲が拡大し、同時に、女性の保護規定は廃止された。さらに2006年の改正では男性に対する差別禁止も追加された。(P33) ・図 就業時間が週60時間以上の男性雇用者の割合 (P33) ・図 ジェンダー・バイアス (P33) ・図 性・年齢別労働力率 (P33) ・図 女性の労働力率の国際比較 (P33) ・男女共同参画社会基本法は、社会のあらゆる分野の活動に男女が対等に参画することを目指して、1999年制定された。(P34) ・図 男女格差指数の国際比較 (P34) ・図 性別役割分業意識の推移 (P34) ・「男は仕事、女は家事・育児」という固定的な性別役割分業意識を取り除き、「男女共に、仕事も家庭も」という意識の確立が求められる。(P35) ・図 育児休業取得者の割合 (P56) ・図 子どもをもって負担に感じること ・図 夫の休日の家事・育児時間と第2子以降の出生状況 (P58) ・コラム 性別による制服の違いという固定観念を見直し、誰もが抵抗なく制服を着用できるように、詰め襟・セーラー服をブレザーにする、女子がスラックスを着用できる、ネクタイやリボンが自由に選択できるなど、制服を変更する学校が現れている。(P161) ・図 労働力率の就業形態別内訳 (P193) ・図 女性が就業を継続・中断した場合の賃金比較 (P193) ・図 賃金の年齢カーブ (P193) ・図 30歳未満単身男女の支出内訳 (P193)
家族に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・「家族とは何か」と聞かれたら、あなたは何と答えるだろうか。多くの場合、父・母、祖父・祖母、きょうだい、夫・妻など、結婚や血縁などによってつながり、自分と関わりの深い人々を家族と考えている。(P26) ・家族は、個人の生活や意識に大きな影響を与える特別な存在である。(P26) ・家族は、それ以外の集団と異なり、子どもを生み育てる機能を持っている。(P26) ・家族は、私的な存在であると同時に社会的な存在でもある。(P26) ・コラム 「出生家族」と「創設家族」(P26) ・図 一般世帯における家族構成の割合の推移 (P26) ・家族は、必ずしも範囲が明確ではない。(P27) ・図 世帯の分類と世帯構成 (P27) ・図 核家族世帯の例 (P27) ・図 拡大家族世帯の例 (P27) ・子どもを生み育てる機能は、家族が持つ基本的な機能として、家庭に最後まで残るとされている。(P28) ・家族と法律 (P29～31) ・家族に関する法は、民法、戸籍法、各種の社会保障法等から成っているが、なかでも民法には、家族や家庭生活についての決まりが多く定められている。(P29) ・図 旧民法と現行民法との比較 (P29) ・図 3親等内の親族 (P30)

記述の内容	
性差に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・図 生涯賃金の比較(2016年) (P15) ・コラム 多様な性のあり方 (P16) ・コラム パートナーシップ制度 (P16) ・コラム ほかの国の事実婚 (P17) ・図 結婚することの利点 (P17) ・図 旧民法と現行民法の比較 (P21) ・図 50歳時未婚率 (P23) ・図 晩婚化(平均初婚年齢の推移) (P23) ・性別役割分業が一般的であった頃は、職業労働を夫が担い、家事労働を妻が担う形が多かった。1985年の女子差別撤廃条約の批准を機に、国内では男女雇用機会均等法や男女共同参画社会基本法の施行など、女性の社会における待遇を改善する取り組みが進められた。男女が協力して職業労働・家事労働をこなすことは当たり前という意識が社会に定着しつつある。(P24) ・男女の協力に対する意識が高まっているものの、日本の男女共同参画のレベルは、ジェンダーギャップ指数が153か国世界第121位と、まだまだ低い水準にある。(P24) ・図 女性の労働力人口比率(2016年) (P24) ・図 性別役割分業についての意識の変化 (P24) ・育児休業取得率で見ると、母親が82.2%であるのに対し、父親は6.16%と圧倒的に低い。(P46) ・図 育児休業の取得率 (P46)
家族に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・コラム パートナーシップ制度 (P16) ・コラム ほかの国の事実婚 (P17) ・結婚すると、2人は法律で家族として認められる。家族は、衣食住、経済を共同で管理しながら生活を営んでいく。(P17) ・家族には明確な定義はないため、人によってイメージする構成や範囲は多様である。家族の形は、社会の状況や文化、時代によって変わる。(P18) ・図 家族のふたつの形 (P18) ・図 出生家族と創設家族 (P18) ・法律における家族 (P20~21) ・家族は、構成する人同士の精神的・生活的なつながりだけでなく、法律によっても強く結びつけられている。(P20) ・図 親等表 (P20) ・図 旧民法と現行民法の比較 (P21) ・図 世帯構成割合の変化 (P22) ・親の仕事や、子どもの塾通いなど、家族が忙しさに追われがちで今、家族の会話などの機会が少なくなっている。そのため、家族の団らんの場となったり、きずなを強めたりする家庭の機能がはたらかず、家族関係がうまくいかなることもある。(P23) ・家族の形や雇用形態など、生き方の選択肢が多様になってきた。(P25)

記述の内容	
性差に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・図 生涯賃金の比較 (P15) ・コラム 多様な性のあり方 (P16) ・コラム パートナーシップ制度の広がり (P16) ・図 結婚することの利点 (P17) ・コラム ほかの国の事実婚 (P17) ・図 旧民法と現行民法の比較 (P20) ・「家」制度とは、戸主である男性が、家をまとめる絶対的な権限をもつ家族制度である。(P20) ・民法の規定が、家族・家庭の実情に合わないとして、国民からたくさんの意見が出されており、民法を改正するべきかどうか、国で議論が交わされている。(P20) ・日本では、男女が結婚するとき、すべての夫婦は同じ姓を名乗らなければならないと定められている。女性が自分の性を男性の性に合わせて変える場合が圧倒的に多い。(P21) ・図 50歳時未婚率 (P25) ・図 平均初婚年齢の推移 (P25) ・性別役割分業が一般的であった頃は、職業労働を夫が担い、家事労働を妻が担う形が多かった。1985年の女子差別撤廃条約の批准を機に、国内では男女雇用機会均等法や男女共同参画社会基本法の施行など、女性の社会における待遇を改善する取り組みが進められた。男女が協力して職業労働・家事労働をこなすことは当たり前という意識が社会に定着しつつある。(P26) ・男女の協力に対する意識が高まっているが、日本の男女共同参画のレベルは、ジェンダーギャップ指数が153か国中世界第121位と、まだまだ低い水準にある。(P26) ・図 女性の労働力人口比率(2016年) (P26) ・図 性別役割分業についての意識の変化 (P26) ・父親の育児休業取得率は6.16%と非常に低い。(P52) ・図 日本の育児休業取得率 (P52) ・1947年、男性の平均寿命は50歳、女性は54歳。2018年、男性の平均寿命は81歳、女性は87歳。(P53) ・日本の平均寿命の推移 (P60) ・1960年代の授業の様子。女子生徒はセーラー服を、男子生徒はカッターシャツを着用している。現在、ブレザーなど、さまざまな制服の形やデザインが生まれ、それぞれの学校の生徒であることを示している。(P135)
家族に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・1950年代の家族の様子。祖父母や親子が同居することが多く、家族の人数が多かった。現在の家族の様子。夫婦のみ、ひとり暮らしなど多様な家族の形があり、家族の人数は少なくなっている。(P11) ・コラム パートナーシップ制度の広がり (P16) ・コラム ほかの国の事実婚 (P17) ・結婚すると、2人は法律で家族として認められる。家族は、衣食住、経済を共同で管理しながら生活を営んでいく。(P17) ・家族には明確な定義はないため、人によってイメージする構成や範囲は多様である。家族の形は、社会の状況や文化、時代によって変わる。(P18) ・家族の基本的な役割は、次世代を担う命を生み出して育てることである。家族は、生活のなかでおたがいに協力し合いながら、精神的な結びつきを深め、かけがえのない存在として信頼関係を構築していく。また、家族には人と社会をつなぐ役割もある。(P18) ・図 核家族と大家族 (P18) ・図 出生家族と創設家族 (P18) ・家族の実態は、総務省の国政調査によって調査されている。(P19) ・法律と家族・家族 (P20～23) ・家族に関する法律は、日本国憲法に示された、家族や家庭を考えるうえで基本となる考え方をもとにしている。(P20) ・図 旧民法と現行民法の比較 (P20) ・「家」制度とは、戸主である男性が、家をまとめる絶対的な権限をもつ家族制度である。(P20) ・民法の規定が、家族・家庭の実情に合わないとして、国民からたくさんの意見が出されており、民法を改正するべきかどうか、国で議論が交わされている。(P20) ・婚姻すると、夫婦は姓を同じくし、同居し、たがいに助け合う義務が生じる一方で、社会の最小単位である家族として国に登録されることとなり、新しくできた家族と社会との関係も生まれる。(P21) ・図 親等表 (P23) ・図 世帯構成割合の変化 (P24) ・親の仕事や、子どもの塾通いなど、家族が忙しさに追われがちな今、家族の会話などの機会が少なくなっている。そのため、家族の団らんの場となったり、きずなを強めたりする家庭の機能がはたらかず、家族関係がうまくいかなくなることもある。(P23) ・家族の形や雇用形態など、生き方の選択肢が多様になってきた。(P27)

記述の内容	
性差に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業取得率(平成30年度) 男性:6.2% 女性:82.2% (P155) ・セクシャル・マイノリティ(性的少数者)の多くが、そのことを隠している。(P184) ・図 平均初婚年齢の変化 (P192) ・図 50歳時未婚率の推移 (P192) ・結婚・出産後も就労を継続したい女性は増加しているが、就労を中断してパート労働などの非正規雇用での再就職をする人も多い。一方で、長時間労働により父親が子どもとふれ合う時間をほとんど持てない状況や、過労死なども起きている。(P194) ・家事労働は、歴史的につくられた性別役割分業意識から女性の仕事とされてきて、今でもこの傾向が残っている。(P195) ・ジェンダーによる固定的な性別役割分業意識にこだわることなく、男女が協力してともに家庭生活の責任を果たし、健康で人間らしい生活を追求していくためには、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が求められる。(P195) ・図 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について (P195) ・図 夫と妻の家事関連時間 (P195) ・男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もっと男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」のことである。(P196) ・図 女性の労働力率の国際比較 (P196) ・図 日本の女性の労働力率の推移 ・図 6歳未満の子どもを持つ夫婦の家事・育児関連時間(1日あたり) (P196) ・デートDVって、知っている? (P199) ・コラム 旧民法と「家」制度 (P202) ・民法第750条で、婚姻の際には「夫又は妻の氏を称する」とあるのに、結婚すると、夫の姓にする女性が多いのはどうしてだろう? (P202)
家族に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の捉え方は人によって異なり、多様だが、あなたに大きな影響を与える特別な存在である。(P190) ・日本の家族は、社会の変化に運動して変化してきた。(P190) ・「あなたの家族は?」と聞かれたら、だれを思い浮かべる? (P190) ・現在の日本の家族の特徴を最近の世帯構成の変化から見ると、夫婦のみと一人暮らしの世帯の割合が増加している。(P191) ・家族について考えてみよう (P191) ・図 世帯数と世帯の形の変化 (P191) ・「家族とは何か」という問いへの回答は、何をもって家族と考えるかにより多様である。法的には、婚姻届けの提出により、新しい家族の誕生となる。(P192) ・家族には、生まれた家族(出生家族)と創る家族(創設家族)がある。(P192) ・家族関係は、学校や職場、近所の人たちとの関係とは何は違うのだろうか。(P197) ・図 家族関係の4つの特徴 (P197) ・核家族化・密室化した家族は、家族がストレスなどをため込んで、うまく処理できないことがある。(P198) ・図 家族の問題のおもな相談先 (P198) ・家族とのコミュニケーションは? (P199) ・家族と法律 (P200~203) ・私たちのまわりには多くの法律があるが、家族・家庭に関する制度はおもに民法に規定されている。(P201) ・コラム 旧民法と「家」制度 (P202) ・民法第750条で、婚姻の際には「夫又は妻の氏を称する」とあるのに、結婚すると、夫の姓にする女性が多いのはどうしてだろう? (P202)

記述の内容	
性差に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・性と生殖に関する権利を行使する主体として、他者の気持ちを尊重し、自分の思いも大切に、豊かな関係を築いていきたい。(P17) ・コラム 性と人権～Noといえますか？(P17) ・男女共同参画社会の推進(P18) ・社会のあらゆる場において、性別に伴う固定観念(ジェンダー:gender)を根拠に人生の選択や活動の範囲が狭められたりすることのないよう、国内の制度や慣習の見直しははかられてきた。(P18) ・育児・介護休業法は改正を重ね、2015年9月には、女性活躍推進法が施行された。(P18) ・女性のためのみならず、男性を含めたすべての人にとって、性別にかかわらず自分らしい生き方を可能とする社会に実現をめざしたい。(P18) ・図 それぞれの分野で男女の地位は平等ですか？(P18) ・日本社会は古くからある慣習として、男性が収入労働に携わり、女性は家庭で家事労働と育児を主として行うというものがあつた。(P19) ・図 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方をどう思う？(P19) ・図 男性が家事・育児を行うことのイメージは？(P19) ・図 男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なことは何？(P19) ・図 どのような仕事が理想的だと思うか(P20) ・図 女性の労働力率の国際比較(2018年)(P23) ・図 男女の労働時間(日本・2018年)(P23) ・図 50歳時の未婚割合の推移と将来推計(P25) ・特徴は、戸主が原則男性であつたため、親権や相続、財産管理などの権利が女性にはなかつた、ことである。(P28) ・図 旧民法(明治民法)と現行民法の比較(P28) ・女性の婚姻最低年齢は男性と同じ18歳に引き上げられる。これは、男女平等の立場からなされたものである。(P29) ・コラム 選択的夫婦別姓制度とは？(P29) ・図 選択的夫婦別姓制度についてどう思いますか？(P29) ・世界の結婚事情(P32) ・日本の女子結婚最低年齢の改正(P33) ・図 6歳未満の子どもをもつ夫婦の家事・育児関連時間(1日あたり)(P56)
家族に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・家族は夫婦を中心として、親やきょうだいなど、近親者を主な構成員としている。(P24) ・家族は同居して暮らす場合が多いが、さまざまな事情で離れて暮らし、別世帯となっている場合もある。(P24) ・人々の家族に対する価値は増加している。一番大切なものに「家族」をあげている人の割合は1958年は12%だったが、2013年には44%となっている。(P24) ・図 あなたにとって一番大切なもの(P24) ・多くの場合、人は一生の間に二つの家族を経験するといわれている。(P25) ・図 世帯構成の変化(P26) ・家族という人間関係は、愛も憎しみも深いため、時には家族のなかで傷つき、その後の人生に深い傷を残すこともある。特に、家族のなかで起こる暴力や虐待は大きな問題である。(P26) ・家族に関する法律(P28～31) ・1947年の民法改正において家族法が全面的に改定されたことにより、「家」制度は廃止された。(P28) ・図 旧民法(明治民法)と現行民法の比較(P28) ・コラム 選択的夫婦別姓制度とは？(P29) ・図 選択的夫婦別姓制度についてどう思いますか？(P29) ・世界の結婚事情(P32) ・図 民法における親族の範囲(第725条)(P31) ・家族の暮らしでは、夫婦2人の暮らし、子どもがいる暮らしでは、介護が必要な人との暮らしなど、メンバーによって、住まいに対する要求が大きく変わる。(P180)

記述の内容	
性差に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・コラム 性のあり方(セクシュアリティ)を考える (P14) ・女性として女性らしく生きていくべきである、男性として男性らしく生きていくべきであるといった社会的につくられた規範的メッセージが、親や先生、友人などの身近な人やメディアなどから日々発信され、私たちに内面化されていく。(P14) ・社会のなかでいわれる「女性らしさ」や「男性らしさ」に無理やりはめこむことなく、自分の能力や感性、これからの生き方を自由に描くことができる。(P14) ・トピック ダイバーシティ&インクルージョン (P15) ・夫のみが働いて収入を得て、妻は専業主婦という形態をとる家族が増加した。このことにより、男性は家庭の外で仕事をし、女性は家庭にとどまって家事・育児をするという性別役割分業にもとづく家庭イメージが定着することになる。(P20) ・経済の低成長期に入ると、家計や子どもの教育費の補助といった経済的な理由によりパートなどの短時間労働に従事する女性が増えた。(P21) ・男女平等や女性の経済的独立への意欲の高まりなどにより、就労する女性たちが増えていった。(P21) ・「夫が働き、妻は専業主婦で家事・育児をする」という高度経済成長期に形成された家族モデルは、主流とはいえなくなり、専業主婦世帯より共働き世帯の方が多くなってきている。(P21) ・コラム M字型就労曲線 (P21) ・男性は18歳、女性は16歳と結婚開始年齢に男女差があったが、1996年に法務省の法制審議会から男女ともに18歳に統一する案が答申されていた。(P22) ・図 明治民法(旧民法)と現行民法の比較 (P22) ・トピック 多様な家族のあり方を認める動き (P23) ・コラム ささまざまな暴力と対等な関係性を考える (P24) ・コラム ひとり親世帯の経済状況 (P26) ・日本の男性の家事・育児時間は、先進国のなかで最低水準にとどまっている。(P28) ・図 長時間労働(週49時間以上)の割合 (P28) ・第一子の出産を機に退職する女性は4割をこえ、少子化による労働力不足のなかで問題となっている。(P28) ・日本の社会には、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分業が根強く、働き方にも大きな影響を与えている。たとえば男性は「家族を扶養すべきもの」という規範に縛られ、それが正社員の長時間労働や男性の生きづらさを招いてきた。一方、女性は家事・育児を担うものとされ、職場の少数派に追いやられがちだった。(P29) ・図 雇用形態・男女別平均賃金 (P29) ・男性は4人に1人、女性は7人に1人は生涯結婚しない。(P32) ・図 初婚年齢別の婚姻件数割合 (P32) ・図 生涯未婚率(五十歳時既婚率)の推移 (P32) ・写真 性別に関係なく自由に選べる制服 (P32) ・世界の男女平等ランキング (P34) ・図 各分野における主な「指導的地位」に女性が占める割合 (P34) ・母親が育児を中心的に担っていることなどにより、家庭での遊び相手は母親にかたよる傾向にある。(P50) ・図 平日、幼稚園、保育園以外での一緒に遊ぶ相手 (P50) ・トピック 妻と夫の育児・家事化案連時間の国際比較 (P57) ・コラム 3歳児神話と母性神話 (P57) ・図 健康寿命と平均寿命の推移 (P64) ・介護を受ける場所については、男女共に「自宅」が最も多い。だれに介護を頼みたいかと考えるかについては、男女で回答にかなり差がある。男性の場合は配偶者が最も多いが、女性はヘルパーなど介護サービスの人が最も多くなっている。(P66) ・女性に比べ男性が、家族や友人との会話の頻度が低い。(P78) ・図 困った時に頼れる人がいない人の割合(性・世帯構成別) (P194)
家族に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは家族という言葉から、何を連想することはできるだろうか。家族という言葉は、何らかの感情が伴うのではないだろうか。(P20) ・図 世帯構成の変化 (P21) ・生まれた時から家族のなかで支えられながら生活している。家族に関する法律(家族法)は「個人の尊厳と両性の本質的平等」にもとづき制定されている。(P22) ・図 明治民法(旧民法)と現行民法の比較 (P22) ・トピック 多様な家族のあり方を認める動き (P23) ・家族に関する法律Q&A (P23) ・日本ではまだまだ家族や親族によるケアに大きく依存している。(P26) ・家族が抱える困難は家族のみでは解決できないことも少なくない。(P27) ・家族と一緒に仕事をする農家や商店もある一方で、多くの家庭は家族それぞれが異なる職場で就労している。家族は、そもそも所属する社会集団の異なる多様な人々の集まりであり、家族はダイバーシティ(多様性)をインクルージョン(包含)した集団であるともいえる。(P33) ・トピック 家族と暮らす、ひとりで暮らす、だれかと暮らす (P33) ・家族らによる虐待者は息子や夫、娘が多く、被害者とふたりだけで同居しているケースが約半数を占めている。(P68) ・家庭内の介護者は、配偶者や娘、息子の妻など女性が多い。(P69)

記述の内容	
性差に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・図 高校生のつきたい職業TOP10 (P11) ・コラム 性と人権 (P11) ・図 雇用形態別にみた雇用者割合 (P12) ・図 現職の雇用形態に就いた主な理由(非正規の職員・従業員) (P12) ・図 どのような仕事が理想的だと思うか (P12) ・図 以下の作業を家事だと思うか? (P13) ・図 夫婦の生活時間(1日平均) (P14) ・図 年齢階級別の家事関連時間(週全体) (P14) ・生活時間の使い方は、男性と女性によっても違いがみられる。近年では、男性の家事労働の時間は昔と比べ多少増加傾向にあるが、依然として男女差は大きい。それに対して職業労働の時間については、女性よりも男性のほうが多い傾向にある。(P15) ・図 6歳未満の子どもを持つ夫婦の育児・家事関連時間(1日あたり) (P15) ・図 主な行動の種類別生活時間(週全体) (P15) ・1999年に男女共同参画社会基本法が施行されてから、すでに20年あまりが経過した。同法の制定によって、社会のあらゆる場において、性別に伴う固定観念(ジェンダー:gender)を根拠に人生の選択や活動の範囲が狭められたりすることがないよう、国内の制度や慣習の見直しははかられてきた。(P16) ・育児・介護休業法は改正を重ね、2015年には、女性活躍推進法が制定された。いずれも、女性が社会に進出する際に職業と家庭の両立をはばむ問題の解消を目指すものである。(P16) ・女性のためのみならず、男性を含めたすべての人々にとって、性別にかかわらず自分らしい生き方を可能とする社会の実現をめざしたい。(P16) ・図 各分野の男女の地位の平等感 (P16) ・図 ジェンダー・ギャップ指数(順位とスコア) (P16) ・婚姻についての憲法と旧民法 (P32) ・図 社会の推移(成立年・改正年) (P16) ・日本社会に古くからある慣習として、男性が収入労働に携わり、女性は家庭で家事労働と育児を主として行うというものがあつた。このような固定的性別役割分業は、こんにちの男女共同参画社会を推進するうえで、障害となる固定観念である。(P17) ・図 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えに対する意識 (P17) ・図 男性が家事・育児を行うことについてのイメージ (P17) ・図 育児休業制度を利用しなかった理由(男性) (P17) ・図 男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なこと (P17) ・困ったケース:デートDVバージョン (P21) ・デートDVについてみんなで考えてみよう (P21) ・DVの種類 (P21) ・家庭内暴力とDV防止法 (P21) ・戸主が原則男性であつたため、親権や相続、財産管理などの権利が女性にはなかったことである。(P22) ・図 旧民法(明治民法)と現行民法の比較 (P22) ・共働き世帯が増加するなか、女性の妊娠・出産を保護する法律・制度の充実と共に、性別を問わず子育てに参加できる社会的な環境が望まれている。(P52) ・男性の育児休業取得率が低いなどの問題があり、制度についても先進諸国のなかではまだ十分とはいえない。(P52) ・図 女性保護と子育てに関する法律・条約 (P52)
家族に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・家族をはじめとする多くの人の支えがあつて、今の自分がある。(P9) ・家族は、一般的には夫婦を中心として親子やきょうだいなど、近親者を主な構成員としている。(P18) ・家族は同居して暮らす場合が多いが、さまざまな事情で離れて暮らしている場合もある。(P18) ・多くの人は一生の間に二つの家族を経験するといわれている (P18)。 ・さまざまな家族形態 (P18) ・生育家族と創設家族 (P19) ・あなたにとつての家族とは? (P19) ・図 家族だと思ふ範囲 (P19) ・図 家族の要件 (P19) ・世界のいろいろな家族 (P19) ・コラム 事実婚をPACS (P19) ・図 一般世帯の世帯構成の変化 (P20) ・家族という人間関係においては、その関係性の深さから時には深く傷つくこともある。特に、家族のなかで起こる暴力や虐待は大きな問題である。家族内の問題は、表面化しにくいため、問題が深刻化するのを食い止めることが容易ではない。(P21) ・日本国憲法には、家族に関する法律の理念が定められている。 ・図 旧民法(明治民法)と現行民法の比較 (P22) ・家族法 (P22) ・民法における親族の範囲 (P23) ・家族にかかわる法律 (P24~25) ・子どもを生み育てることは、子孫を残し、家族のきずなを強めるといった個人的意味と、文化を継承・発展させ、未来を担う構成員を育てるといった社会的な意味を持つ。(P48)

記述の内容	
性差に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・図 雇用形態別の婚姻・交際状況 (P10) ・社会の慣習の中には、生物学的性差だけで生き方や役割を固定して期待する「男性像」「女性像」がある。このような「歴史的・社会的・文化的に形成された性のありよう」をジェンダーという。(P13) ・多様性 (P13) ・日本では、高度経済成長期(1950年代後半～)以降、「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という性別役割分業意識が経済政策的に強化された。しかし、国際社会では男女平等の考えが強まり、1979年に女子差別撤廃条約が国連で採択された。日本も1985年に条約に批准し、それを受けて、男女雇用機会均等法は施行されたり、中学・高校家庭科が男女共修に変更されたりした。(P14) ・現在は、固定的な性別役割分業意識や社会のしくみを変え、家庭や地域や社会において性別にかかわらずその個性と能力を発揮する男女共同参画社会がめざされている。(P14) ・日本の働く女性は男性よりも家事時間が長く、諸外国より男女差が大きい。また、管理職や議員に占める女性の割合は諸外国と比べて低く、ジェンダーギャップ指数も下位である。(P14) ・図 「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という考え方 (P14) ・図 就業者及び管理職に占める女性の割合 (P14) ・図 ジェンダーギャップ指数 ジェンダーギャップ指数の4分野 (P14) ・誰もが性的な関係、妊娠、避妊、中絶、出産について自分自身で決めることができ、その選択が守られる権利をもっている。これをリプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康/権利)という。(P15) ・DVの背景には、「男性がリードし、女性は控えめに従うのがよい」といった固定的な意識や、愛情を理由とする過剰な独占欲や嫉妬心による束縛などがある。(P15) ・DV被害に関する主な相談先 (P15) ・デートDVってどんなこと?DVと固定的な性別役割分業意識はどうして関連しているのだろうか考えてみよう。(P15) ・特に若年層に、また、男性と比べて女性に非正規雇用者の割合が高い。(P18) ・女性のなかには結婚や出産後も仕事を続けたいと考えていても、仕事と家庭を両立できる環境が整っていないことなどから仕事を辞めざるをえない人もいる。(P18) ・図 非正規雇用者の推移 (P18) ・図 雇用形態別賃金(月額) (P18) ・図 学歴別賃金(月額) (P18) ・図 女性のライフコースの違いによる賃金比較 (P18) ・図 平均初婚年齢 (P29) ・図 生涯未婚率の推移 (P29) ・婚姻についての憲法と旧民法 (P32) ・日本国憲法の制定にかかわったベアテ・シオタ・ゴードン (P32) ・夫婦同姓については「女子差別撤廃条約」に基づき設置された委員会から、差別的な規定であると懸念が表明されたが、裁判では合憲判決が示されており、議論が続いている。(P33) ・図 選択的夫婦別姓に関する意識調査 (P33) ・家族に関する法律 (P34～35) ・三親等内の親族図 (P35) ・児童のいる世帯と母子世帯及び父子世帯の平均収入 (P34) ・「3歳児神話」や「母性神話」では、子どもが小さいときは母親が育児に専念することの必要性が示されている。しかし、妊娠・出産も含めて、子どもを守り育てる仕事は、母親だけでなく、母親と父親、それに代わる立場の人たちが、地域・社会の支援制度の下で互いに協力し合って成し遂げていくものである。(P58) ・図 6歳未満の子どもをもつ夫婦の家事・育児関連時間の国際比較(1日あたり) (P58) ・つくられた「3歳児神話・母性神話」 (P58) ・かつて愛着の対象は母親一人に限られるとされてきたが、その後の研究によって、父母・祖父母・保育者にでも、地域のかかわりの深いおとなにでも、子どもの欲求に的確にこたえる一定の養育者を対象にすることが明らかになった。(P59) ・図 育児休業の取得率の推移 (P63) ・母親も仕事を続けられる環境をめざされている。(P64) ・ジェンダー不平等指数(GII) (P85) ・性別によっても消費支出に違いがある。30歳未満の単身の男女別の世帯の消費支出の割合をみると、食料費や教養娯楽費は男性の方が高く、被服・履物費や保健医療費は女性の方が高くなっている。(P183) ・図 消費支出の費用別割合(30歳未満単身) (P183) ・図 父親の育児休業に関する国際比較 (P211) ・図 夫婦の育児・家事時間の国際比較 (P211)
家族に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・家族を創る・創らないにかかわらず、友人や地域の人、世代の異なる人などのかかわりをどのようにもつのかを考えることは重要である。(P26) ・自分が生まれた家族を「出生家族」、自分自身がつくっていく家族を「創設家族」という。(P26) ・家族は、一般に、結婚や血縁などのつながりのある人びとやその集団と考えられることが多い。しかし、家族とみなす範囲は個人によって異なり、一緒に暮らしていても、それぞれ自分が家族だと思う人は異なる場合がある。(P27) ・いろいろな家族 (P27) ・図 家族類型別一般世帯割合の推移 (P27) ・家族には、親子の関係、夫婦の関係、兄弟姉妹関係などがある。(P30) ・1994年の国際家族年の原則では、「家族は・・・さまざまな形態と機能を有するものであって・・・すべての個人に与えられた基本的人権および自由を促進すべきである」と述べている。(P30) ・家族関係を見つめ、新たに創る視点 (P30) ・家族だけでなく、家族以外の人や相談できる場所に相談すると、解決がたやすいこともある。(P31) ・家族は、大小あっても常に問題を抱えているものである。そのようなとき、家族の中で解決しようとするのではなく、開放的な家族でありたい。(P31) ・図 家族に関する問題に対処するための団体や機関・主な相談先と相談内容 (P31) ・法律では、「家族」という文言は使用されていない。(P32) ・家族は個人的な人の集まりだから法律が深くかかわっていない、と思っているかもしれない。(P32) ・民法は、家族・親族・扶養・相続などに関する決まりであり、個人の家族・家庭生活のあり方を大枠で規制している。(P32) ・婚姻についての憲法と旧民法 (P32) ・家族に関する法律は部分的な改正が行われてきた。(P33) ・図 選択的夫婦別姓に関する意識調査 (P33) ・家族に関する法律 (P34～35) ・図 三親等内の親族図 (P35) ・家族の中に生まれた子どもは、同時に社会全体の未来になう子どもとしてとらえ、法律などで子どもの発達を促す取り決めがされてきた歴史がある。(P64) ・病気や障害、高齢、精神的な問題などを抱えた家族に対し、おとながするようなケアを担う18歳未満の子どものことをヤングケアラーという。(P78)

記述の内容	
性差に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・図 平均初婚年齢の推移 (P17) ・図 生涯未婚率の推移 (P17) ・図 結婚の条件 (P17) ・コラム 多様な性(性はグラデーション) (P19) ・コラム DV(ドメスティック・バイオレンス) (P27) ・夫婦の生活時間 (P29) ・コラム 民法の変化 (P31) ・男女共同参画社会基本法(1999年)制定から20年経った今でも、性別による待遇差や不利益が存在する。世界的に見ても、日本は、生活と仕事のバランスにおいて男女が平等ではなく、いまだに残る性別役割分業意識から、女性が家事労働と職業労働の両方を担う家庭も多い。(P32) ・男女・年齢階級別労働力人口比率の推移 (P32) ・出産前後の女性の就業状況の変化 (P32) ・男女共同参画社会基本法 (P33) ・図 男女・就業形態別給与水準の比較 (P33) ・図 グローバル・ジェンダーギャップ指数(2018年) (P33) ・図 男女の幸福度国際比較 (P33) ・日本の父親の育児時間は諸外国に比べてかなり短い。父子関係を築きにくいばかりか、母親一人で育児をする「ワンオペ育児」は、子育てのために退職や転職をするといった人生の大きな選択を女性の側だけが背負う理由にもなっている。(P58) ・図 6歳未満の子どもをもつ夫の家事・育児関連時間(1日当たり) (P59) ・図 育児休業取得者の割合 (P59) ・コラム 血縁にこだわらない家族 (P59) ・図 子どもの遊び相手 (P61) ・図 日本人の平均寿命の推移と将来推計 (P69) ・図 65歳以上の一人暮らしの者の動向 (P73) ・図 雇用形態、性、年齢階級別賃金(月額)の違い (P105) ・図 働き方による累積年収の比較 (P111)
家族に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・家族は、一般的に「夫婦とその血縁関係を中心に構成され、共同生活の単位となる集団」と定義される。(P24) ・「生まれ育つ家族(出生家族)」と「つくる家族(創設家族)」など、家族は一生の間に変化する。(P24) ・「あなたの家族は?と聞かれて思い浮かんだ家族の範囲をファミリー・アイデンティティという。もし、あなたが家族と思えば、ペットも家族である。結婚や血縁関係にはなくても、一緒に暮らす人が「家族」と思えば家族である。家族をどう考えるか、どのような家族でありたいかは、人によりさまざま、家族のありようは一人ひとりの主観によって決められていくものである。(P24) ・家族は、一般的な定義はあるが、範囲は明確ではない。(P24) ・図 生まれ育つ家族とつくる家族 (P25) ・図 世帯の分類と家族構成 (P25) ・図 家族類型別一般世帯数の割合と変化の予測 (P25) ・コラム 「何かあったとき」の家族の範囲 (P25) ・家族は、一般に、ほかの集団に比べて一体感の強い集団である。(P26) ・家族は、かけがえない愛情によってあたたかくつづまれる反面、何かのきっかけで不和になると離れることが容易ではないため、大きなしこりが残ることがある。(P26) ・時として、家族という閉ざされた集団の中では、解決困難な大きな問題が起きる。(P26) ・図 家族の人間関係 (P27) ・法律から見る家族・家庭 (P30~31) ・図 三親等内の親族 (P30) ・家族・家庭に関する法律には民法や戸籍法があり、婚姻や離婚、親子や親族関係、扶養や相続について定めている。(P30) ・コラム 民法の変化 (P31) ・家族・家庭の問題は、社会全体の問題である。(P32) ・コラム 血縁にこだわらない家族 (P59) ・高齢者にとって、身近な人、特に家族との交流は、離れて暮らしていたとしても、心の支えとなる。(P72) ・介護保険を利用することで、高齢者はより専門的で質の高い介護を受けることができ、家族の介護の負担を軽減できる。(P74)

記述の内容	
性差に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・図 正規、不正規雇用者の割合 (P10) ・コラム 高校生が将来つきたい職業ランキング (P11) ・働き方が変化するなかで、男性の稼ぎ手が一人前の所得を得て、女性が家事・育児・介護をするというような分業を前提にした生活スタイルに多くの矛盾が生じていることである。(P11) ・図 女性の年齢別労働力率 (P12) ・男性に比べて、日本の女性の年齢別労働力率は出産育児期に労働力が下がり、子育て後に再び上がるM字型曲線を描くことが特徴である。(P12) ・非正規雇用者の割合は、男性に比べて女性の方が圧倒的に多く、女性雇用者のうち非正規雇用者の割合は半数を超えている。年収をみても、男性に比べて女性の方が低い。(P12) ・男性には大黒柱の役割が期待され、仕事優先、長時間労働があたり前になっており、家事・育児などの家庭責任を果たすのが難しい。(P12) ・女性にも男性にも働きにくい環境を生み出す基盤があるが、ジェンダーにもとづいた固定的な性別役割分業の考え方である。1960年代以降、「男は仕事、女は家事・育児」という性別役割分業意識が一般化し、今も、それにもとづいた性別役割分担のしくみが仕事や社会制度に反映されている。(P12) ・図 ジェンダー・ギャップ指数 (P13) ・図 未婚者の異性ととの交際状況 (P18) ・図 性・年齢別未婚率の推移 (P18) ・図 平均初婚年齢の変化 (P18) ・図 生涯未婚率の推移 (P18) ・図 結婚の利点 (P20) ・図 明治民法と現行民法の比較 (P22) ・図 平均寿命を健康寿命の差 (P61) ・介護する人を性別にみると、女性が約7割、男性が約3割である。これまでは女性が圧倒的多数を占めていたが、近年男性介護者の割合も増加している。(P62)
家族に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> ・あなたは「あなたの家族はだれですか」という問いに、どう答えるだろうか。今日、人々が思い浮かべる家族の範囲は、その人が家族と認識する基準によって異なっている。(P14) ・私たちにとって、家族(family)は、生活のよりどころであり、心のよりどころである。私たちは家族や周りの人々に支えられ、私たちもそれらの人々を支えながら、社会に働きかけている。(P14) ・図 出生家族と創設家族 (P14) ・図 さまざまな世帯 (P15) ・図 家族類型別一般世帯割合の推移 (P15) ・家族は、炊事や洗濯、裁縫やつくり、子どもの出産や教養、教育。散髪や整髪、病人や高齢者の世話・看病・介護、結婚式や祝いごと、葬式や祖先の供養、休息や娯楽など、広い範囲にわたる多数の機能を果たしていた。(P16) ・1950年代後半以降、夫はサラリーマン、妻は専業主婦という家族が増加し、家族の機能の多くは企業・工場へ移って、家族・家庭は、おもに消費機能を果たす場となった。(P17) ・家族は、家族員に精神的な安らぎを与える情緒的安定、子どもの教育と人格形成、衣食住などの生活活動や生活文化の伝承や創造、健康増進や病気の予防・応急処置などの機能を担っている。(P17) ・現代の家族・家庭は、生活課題の解決や豊かな生活の実現のために、ライフステージの各段階で社会保障制度や社会的支援のサポートをマネジメントする機能も求められている。(P17) ・家族は私たちをさまざまなストレスから保護し、幸福の追求を担っている。しかし、長期にわたって全人格的な深いかわりを持つ家族であることからこそ、ときに意見の食い違い、愛情の葛藤などの相反する感情を生むこともあり、家庭内に問題を閉じこめやすい。(P21) ・さまざまな家族のかたち (P21) ・家族に関する法律 (P22～25) ・トライ 家族問題クイズ (P22) ・図 明治民法と現行民法の比較 (P22) ・日本では、家族に関する法律は、おもに民法の第四編・親族と第五編・相続に規定されており、この二編を家族法と呼んでいる。(P22) ・図 民法における親族の範囲 (P25) ・父親や家族の役割 (P31) ・多くの高齢者は配偶者やパートナーと子どもを心の支えと感じており、高齢者を見守り精神的に支えるという家族の役割は重要である。(P58) ・一方、家族の生活を支える高齢者の役割も大きい。(P58)

「別紙2-7」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 オリンピック、パラリンピックの扱い】(家庭基礎)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	家庭基礎 自立・共生・創造	有	P66 トライ	超高齢社会を共に生きる	・高齢者のライフコースと社会の出来事との関連を調べるワークの、社会の出来事で示されている。
教図	702	未来へつなぐ 家庭基礎 365	無			
教図	703	家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来	無			
教図	704	Survive!! 高等学校 家庭基礎	有	P31 コラム・写真 P183 コラム・写真	衣生活 共生社会	・東京2020大会のユニフォームは「暑さ対策・持続可能性・多様性」の3つの観点から開発された。 ・スポーツボランティアは2020年の東京オリンピック・パラリンピック時にも注目を集めた。
実教	705	家庭基礎 気づく力築く未来	有	P217 コラム・写真	消費行動を考える	・家庭から出される小型家電を市町村が回収し、決められた事業者に引き渡した後、資源を回収、リサイクルする仕組みが始まった。2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは約5000個のメダルが作成された。
実教	706	Agenda 家庭基礎	無			
実教	707	図説 家庭基礎	無			
開隆堂	708	家庭基礎 明日の生活を築く	有	P156 本文・写真	衣生活と健康	・オリンピックで使用されてきた競泳用水着(女子競泳用)を例にして、形や素材の変化・進化をたどる。
大修館	709	クリエイティブ・リビング Creative Living 『家庭基礎』で生活をつくろう	有	P197 資料・写真	衣生活のマネジメント	・オリンピックで選手が着るユニフォームには、何らかの意味が込められていることを説明している。
第一	710	高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる	無			

「別紙2-8」 【「成年年齢の18歳への引き下げ」の扱い】（家庭基礎）

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	家庭基礎 自立・共生・創造	有	P18 コラム P213 コラム	生涯を見通す 持続可能な生活を営む	・成年年齢には民法上2つの意味があることについて説明している。 ・民法改正により、10代はより主体的に社会を創造していく存在になったことを説明している。
教図	702	未来へつなぐ 家庭基礎 365	有	P13 コラム P26 本文 P183 本文 P183 コラム	青年期の自立と家族・家庭 青年期の自立と家族・家庭 消費生活と意思決定 消費生活と意思決定	・成人になると、親の同意なく契約が可能になることが示されている。 ・世界と比較して、成人になるとどのようなことが変わるか説明している。 ・18歳になると親の同意なしで契約ができるようになる、契約には責任がともなうことを説明している。 ・18歳になると何ができるかできないか説明している。
教図	703	家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来	有	P13 コラム P28 本文 P197 本文 P197 コラム	青年期と家族 青年期と家族 消費生活 消費生活	・成人になると、親の同意なく契約が可能になることが示されている。 ・世界と比較して、成人になるとどのようなことが変わるか説明している。 ・18歳になると親の同意なしで契約ができるようになる、契約には責任がともなうことを説明している。 ・18歳になると何ができるかできないか説明している。
教図	704	Survive!! 高等学校 家庭基礎	有	P4 本文 P4 本文 P5 本文 P4～5 図 P6～7 本文	消費生活・環境 消費生活・環境 消費生活・環境 消費生活・環境 消費生活・環境	・2022年4月1日から「大人」になる年齢が、満20歳から18歳に引き下げられたことを説明している。 ・選挙での投票、契約ができることを説明している。 ・「大人」の年齢とは民法の「成年」の年齢であること、1人で契約ができること親権から外れることを説明している。 ・18歳になったらできる主なこと、20歳にならないとできないこと、未成年でもできるものを分類して説明している。 ・「成年」と契約について説明している。
実教	705	家庭基礎 気づき力築く未来	有	P15 本文 P15 コラム P207 本文 P213 本文	これからの人生について考えてみよう これからの人生について考えてみよう 消費行動を考える 消費行動を考える	・高校生のうちに「大人」として社会的に認められることを説明している。 ・若者の意思決定の重要性が大きくなったことを説明している。 ・青年年齢の引き下げにより、高校生でも18歳からはひとりの契約当事者として責任が求められることについて説明している。 ・18歳で成人者となることによって、契約の主体者として権利と責任が増すことを説明している。
実教	706	Agenda 家庭基礎	有	P10 本文 P13 コラム P16 本文 P22 資料	生活設計 自分・家族 自分・家族 自分・家族 自分・家族	・生活設計の中で、18歳で成年となり、自分で意思決定して行動し社会参画することが求められていると説明している。 ・18歳になったらできること、20歳にならないとできないことを分類し、説明している。 ・18歳は、自分のことを「大人」「子ども」どちらだと考えているかの調査結果を示している。 ・18歳になり成年年齢を迎えると、選挙権は得られるが、親の保護（親権）から外れることが説明されている。 ・18歳から成年となり結婚するのに親の同意は必要なくなることを説明している。
実教	707	図説 家庭基礎	有	P10 コラム P22 注釈 P23 図 P27 図 P29 本文 P192 注釈 P198 本文	自分らしい生き方と家族 自分らしい生き方と家族 自分らしい生き方と家族 自分らしい生き方と家族 自分らしい生き方と家族 消費行動を考える 消費行動を考える	・成年年齢の引き下げにより、若者の意思決定の重要性が大きくなったことを説明している。 ・民法改正と成年年齢について説明している。 ・民法改正前と改正後について示している。 ・民法第4条[成年]について示している。 ・成年年齢が引き下げられたことが示されている。 ・成年年齢引き下げと、消費者トラブルについて示している。 ・未成年と成年の違いについて説明している。
開隆堂	708	家庭基礎 明日の生活を築く	有	P11 写真 P33 参考資料 P193 本文 P193 本文	青年期の自立 家族・家庭 消費行動と意思決定 消費行動と意思決定	・選挙を行う写真を示している。 ・成年年齢の変更とそれにとりもなう民法改正について示している。 ・成年年齢引き下げと契約について説明している。 ・成年年齢引き下げにより、18歳でできるようになることについて示している。
大修館	709	クリエイティブ・リビング Creative Living 『家庭基礎』で生活をつくらう	有	P15 本文 P19 本文 P113 本文 P126 本文	青年期の課題と自立 青年期の課題と自立 経済生活のマネジメント 経済生活のマネジメント	・成年年齢が18歳となり、成年年齢には、2つの意味があることを説明している。 ・成人すること、自立することを説明している。 ・契約の相談件数について説明している。 ・18歳で変わる消費生活について振り返っている。
第一	710	高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる	有	P9 コラム P22 コラム P22 インフォメーション	これからの生き方と家族 これからの生き方と家族 これからの生き方と家族	・18歳成年認識度チェックを問題形式で示している。 ・諸外国における成年年齢、婚姻適齢について示している。 ・成年年齢引き下げについて説明している。

「別紙2-9」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 「契約」について取り上げられているページ】(家庭基礎)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	取り上げられているページ	内容
東書	701	家庭基礎 自立・共生・創造	有	・5ページ (P187～191)	・購入・支払いのルールと方法 ・消費者の権利と責任
教図	702	未来へつなぐ 家庭基礎 365	有	・8ページ (P182～189)	・契約の重要性 ・消費者信用のしくみ ・消費者問題の現状と課題 ・消費者問題にあつたら
教図	703	家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来	無	・10ページ (P196～205)	・契約の重要性 ・消費者信用のしくみ ・消費者問題の現状と課題 ・消費者保護のしくみ
教図	704	Survive!! 高等学校 家庭基礎	有	・6ページ (P6～11)	・私には光るものがある 契約と消費者トラブル
実教	705	家庭基礎 気づく力築く未来	有	・6ページ (P204～209)	・消費生活の現状と課題
実教	706	Agenda 家庭基礎	有	・10ページ (P170～179)	・意思決定と契約 ・購入方法の多様化 ・消費者問題 ・消費者保護
実教	707	図説 家庭基礎	有	・10ページ (P192～201)	・契約と主体的な消費行動 ・多様化する販売方法と問題商法 ・消費者を守る制度・法律 ・多様化する支払い方法
開隆堂	708	家庭基礎 明日の生活を築く	有	・4ページ (P193～196)	・消費者の落とし穴 ・行動する消費者
大修館	709	クリエイティブ・リビング Creative Living 『家庭基礎』で生活をつくろう	有	・10ページ (P112～121)	・18歳で変わる消費生活 ・進むキャッシュレス社会 ・「お金を借りる」ということ ・消費者トラブルの今 ・消費者の自立を支援する
第一	710	高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる	有	・8ページ (P184～191)	・契約とは ・消費者問題はなぜ起こるのか ・多様化する支払い方法とリスク防止

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(家庭基礎)

発行者	教科書番号	教科書名	構成上の工夫
東書	701	家庭基礎 自立・共生・創造	<p>①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各見開きページの各所に、「TRY」と題した発問が示されている。 各章末にホームプロジェクトのテーマが探せるチャートが示されている。 <p>②ユニバーサルデザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 裏表紙に「全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。」と示している。 裏表紙に「見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と示している。 <p>③デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> もくじに「『D』インターネット上で見ることができる、学習に関連したコンテンツ。動画やシミュレーション、ウェブサイトなどがある。インターネットには、二次元コード(右)からURL(下)のどちらかを使って、アクセスしよう。」と示している。 もくじに「『Web』相談窓口や学習に関連した情報など、実生活に役立つウェブサイト名。必要に応じて見てみよう」と示している。
教図	702	未来へつなぐ 家庭基礎 365	<p>①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各章の冒頭に、各章に関するSDGsが示されている。 各見開きページの各所に、「TRY」と題した発問が示されている。 各章末に、各章に関するテーマについて世界的な比較、身のまわり事例調査、自分の考えを深める「Viewpoint」が示されている。 <p>②ユニバーサルデザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 裏表紙に「※ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集されています。」と示している。 <p>③デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 目次に「QRコードをタブレットやスマートフォンで読み取ると学習に関連する動画や写真を見ることができます。」と示している。
教図	703	家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来	<p>①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各章の冒頭に、各章に関するSDGsを選択が示されている。 各単元の冒頭に、各単元に関する「Check」が示されている。 各見開きページの各所に、「TRY」と題した発問が示されている。 各章の冒頭に、現在と1950年代を比較が示されている。 各章末に、各章に関するテーマについて世界的な比較、身のまわり事例調査、自分の考えを深める「Viewpoint」が示されている。 <p>②ユニバーサルデザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 裏表紙に「※ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集されています。」と示している。 <p>③デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 目次に「QRコードをタブレットやスマートフォンで読み取ると学習に関連する動画や写真を見ることができます。」と示している。
教図	704	Survive!!高等学校 家庭基礎	<p>①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各中単元の冒頭に、「考えよう！話し合おう！」が示されている。 各中単元末に、「学習をふり返ろう！ひろげよう！」が示されている。 各章に関する「Challenge」が示されている。 <p>②ユニバーサルデザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 裏表紙に「※ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集されています。」と示している。 <p>③デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 目次に「QRコードに対応した端末で読み取ると、教科書に関連したコンテンツを参照することができます。」と示している。
実教	705	家庭基礎 気づく力築く未来	<p>①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭に、「Start Activity」で示している。 「WORLD Activity」「Cross Activity」と題した発問が示されている。 各見開きページの各所に、「Activity」で示されている。 <p>②ユニバーサルデザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 裏表紙に「この教科書はカラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。」と示している。 裏表紙に「見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と示している。 <p>③デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> もくじに「QRマークを掲載したページには、インターネット上に本書の学習に関連した動画を用意してあります。右のQRコードまたは下記にURLにアクセスしてご利用ください。アクセスすると、メニュー画面が表示されます。」と示している。 裏表紙に「本文中にQRマークがあるところは、インターネット上にあるコンテンツを利用できます。右記のQRコードまたは下記にURLにアクセスしてご利用ください。」と示している。

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(家庭基礎)

発行者	教科書番号	教科書名	構成上の工夫
実教	706	Agenda 家庭基礎	<p>①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各見開きページの各所に、「アプローチ」と題した発問が示されている。 各節の終わりに、学習内容を基に考える「確認」が示されている。 <p>②ユニバーサルデザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 裏表紙に「この教科書はカラーユニバーサルデザインに配慮して編修しています。」と示している。 裏表紙に「見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と示している。 <p>③デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> もくじに「QRマークを掲載したページには、インターネット上に本書の学習に関連した動画を用意してあります。右のQRコードまたは下記にURLにアクセスしてご利用ください。アクセスすると、メニュー画面が表示されます。」と示している。 裏表紙に「本文中にQRマークがあるところは、インターネット上にあるコンテンツを利用できます。右記のQRコードまたは下記にURLにアクセスしてご利用ください。」と示している。
実教	707	図説 家庭基礎	<p>①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各見開きページの各所に、「WORK」、「深ぼりWORK」と題した発問が示されている。 各章末に、「実践コーナー」が示されている。 <p>②ユニバーサルデザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 裏表紙に「この教科書は、カラーユニバーサルデザインに配慮して編修しています。」と示している。 裏表紙に「見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と示している。 <p>③デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> もくじに「QRマークを掲載したページには、インターネット上に本書の学習に関連した動画を用意してあります。右のQRコードまたは下記にURLにアクセスしてご利用ください。アクセスすると、メニュー画面が表示されます。」と示している。 裏表紙に「本文中にQRマークがあるところは、インターネット上にあるコンテンツを利用できます。右記のQRコードまたは下記にURLにアクセスしてご利用ください。」と示している。
開隆堂	708	家庭基礎 明日の生活を築く	<p>①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各章の冒頭に、各章に関する関心項目の質問が示されている。 各見開きページの各所に、「話し合ってみよう」、「調べてみよう」、「考えてみよう」と題した発問が示されている。 <p>②ユニバーサルデザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 裏表紙に「本文は、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています」と示している。 <p>③デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> もくじに、「QRコードに対応した端末で読み取ると、教科書の内容に関係するコンテンツを参照することができます。コンテンツがある該当箇所には、QRマークが掲載してあります。QRコードを読み取れない場合などには、以下のURLを入力して参照することもできます。」と示している。
大修館	709	クリエイティブ・リビング Creative Living 『家庭基礎』で生活をつくろう	<p>①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各ページに、「Active Learning」が示されている。 学んだことを深める「Skill up」が示されている。 <p>②ユニバーサルデザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 口絵に「授業の大切なツールである教科書もユニバーサルデザインに取り組んでいます。」と示している。 裏表紙に「この教科書はユニバーサルデザインに配慮しています。」と示している。 <p>③デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 口絵に「資料等にQRコードがついている場合は、Webページから参考情報を調べることができる」と示している。
第一	710	高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる	<p>①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各見開きページの各所に、「TRY」と題した発問が示されている。 実践例を紹介した「深めよう活かそう」が示されている。 各章末にホームプロジェクトの実践例を紹介していると示している。 <p>②ユニバーサルデザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 裏表紙に「この教科書はユニバーサルデザイン(カラーバリアフリーを含む)に配慮しています」と示している。 <p>③デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭に、「パソコン・スマートフォンなどから関連動画などのコンテンツを視聴できる」と示している。